

発売2ヵ月、人気さらに急上昇のTZR250を追って——  
**いままた、新しい神話が生まれる**

**'86年、満足度120%でお客さまを確保。**



# 新しい神話が生まれる

発売2ヵ月、人気さらに急上昇のTZR250を追って



筑波の2レースを制した町井選手とTZR250（写真はF3クラス）

お客さまも、販売店さんも、そしてモーターサイクルに関わる多くの人たちも、久しぶりに熱く胸おどる冬を迎えています。

6年前のあのRZR2500フィーバーをもしのぐ勢いでTZR2500が、めざましいスタートダッシュを見せているからです。

ヤマハニュース、'86年のトップは、そんな「TZR現象」の追跡です。本年もどうぞよろしく、お願い申し上げます。

## SUGOでバックバで

## 注目のレースデビューを無敵の勝利で飾る！

TZR250に秘められた高度なポテンシャルを推し計る手がかりとして注目を集めていたロードレースへのデビューが、新発売からわずか10日後の11月10日、スポーツランドSUGOと筑波サーキットの2カ所で同時に実現しました。

まずSUGO選手権シリーズ最終戦のNPⅡ（ニュープロダクション）250ccクラスに安海

勇一選手（チームレーシー）のライディングで出場したTZR250は、予選でSUGOのラップ記録を3秒も短縮する1分12秒75をマーク。決勝でも2位に30秒もの差をつけて圧勝しました。

一方、筑波選手権シリーズの最終戦には、NPⅡとノービスF3の2クラスに、早ばやと6台のTZR250がエントリーして観衆を驚かせてい



雨の中で行なわれたSUGO選手権最終戦。①が優勝の安海選手

ましたが、そんな中で町井邦生選手（SP忠男レーシング）が、両クラスともポール・トゥー・フィニッシュのパーフェクトウイン。そのうえNPⅡ・1分5秒20、F3・1分3秒16と両クラスともラップ記録を更新しての圧倒的な勝利です。

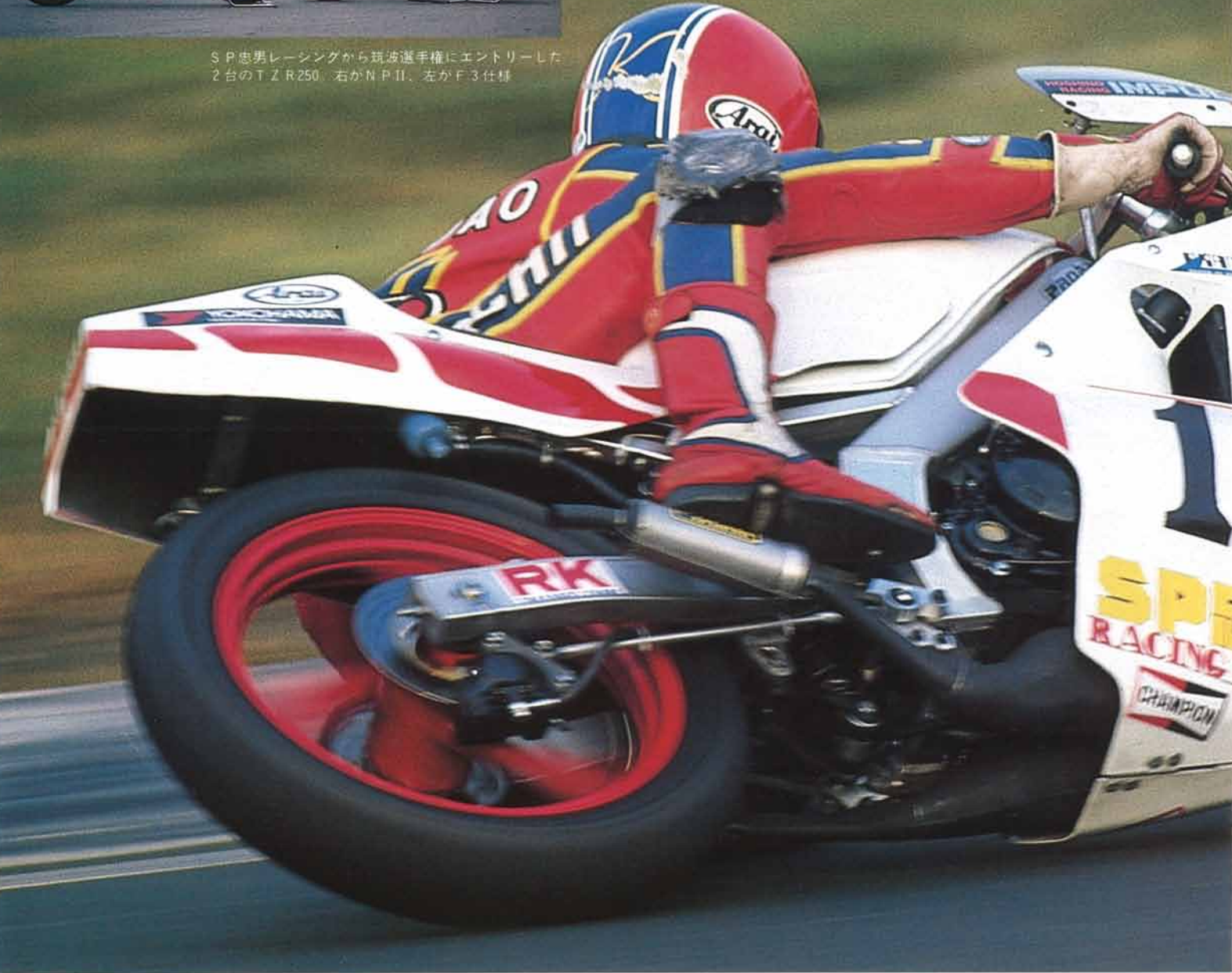
しかも、こうした無敵の3連勝も去ることながら、町井選手のF3のタイムは、ロードレーサーTZ250と同レベルというほどみごとなもの。そのうえSUGO、ツクバともNPⅡクラスは、ほとんどノーマルマシンのままとあって、改めてTZR250のハイポテンシャルぶりに驚異の眼が集中しているところ。

ある専門誌などは、やはりTZRはただのレブリカじゃなかったのだ！ この分だと街もサーキットもTZRだらけになりそうな気配だが……と結んでいるほどです。

# いままた



S.P.忠男レーシングから筑波選手権にエントリーした2台のTZR250。右がNP II、左がF3仕様



## 2輪専門誌でも TZR250に 絶賛の声集中!

コーナーが見えてくると身も心も躍り出すようなタイプ——そうしたライダーに100パーセントの信念をもってお奨めできるマシンが登場した。  
ヘライダースクラブ・12月号

あらゆるフィールドで素晴らしい走りを見せてくれるTZR250に、レーサーレプリカという名にとられない真のスポーツの姿を見た。  
ヘ別冊モーターサイクリスト・12月号

あくまでも華麗に鋭く!  
今、アスファルトに敵無し!! TZR250  
ヘオートバイ・1月号

敵なし!? TZR250  
これが「走りの武器」だっ!  
ヘベストバイク・1月号

開けるほどに、良く曲がり、より速い。  
ヘロードライダー・1月号

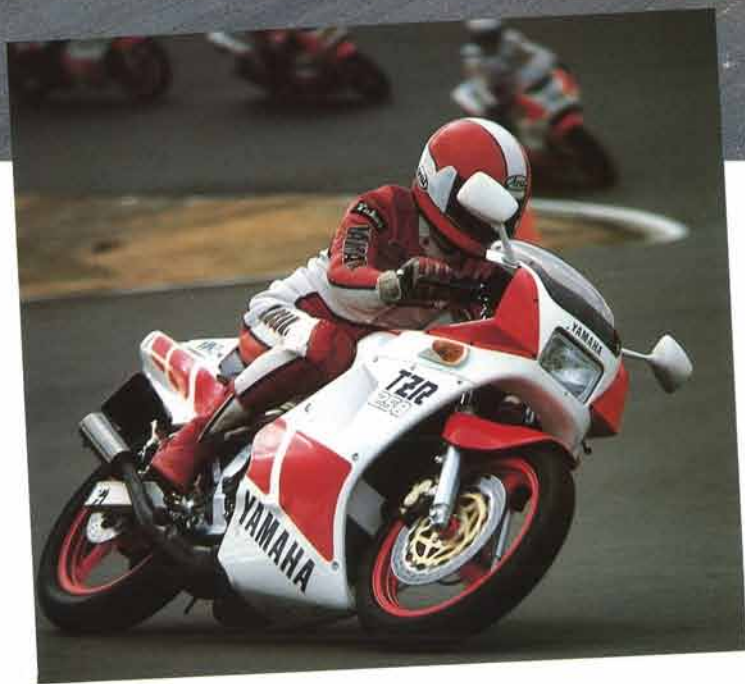
いまやスポーツバイクユーザーのオビニオンリダーとして絶大なパワーを發揮している2輪専門誌。ここでもTZR250は話題を独占し、テストライダーによる試乗記やライバルモデルとの対決テストなどさまざまな企画を通して、TZR250の評価は高まる一方。編集スタッフの熱い思いをそのまま反映して、表現も1号ごとにエスカレートをつづけています。



話題のTZR250をサーキットで試乗できるとあって、250名をこえるYESスタッフが集うSUGOに集合



インストラクターの先導で周回を重ねる参加者のみなさんも、TZR250の安定した速さには脱帽



ファクトリーレーサーYZR500のすばらしい乗り味をそのまま再現した『TZR250』。そのフィーリングをお客さま自身の手でしっかりと確かめていただこうという試乗イベントも盛況で、拡販の大きな原動力となっています。

そうした中で、11月30日にはYES事務局長玉支部、北関東支部が管内のYESショップさんに呼びかけ、YESスタッフを対象とした『TZR250ミーティング・イン・SUGO』を開催しました。

サーキットという最高の環境で、話題沸騰中の『TZR250』のすべてを確認できるとあって人気も最高。当初予定をはるかに上回る希望者が殺到したため、定員を急遽250余名に拡大しての開催となりました。

## YESスタッフ253名 SUGOでTZR250の実力を確認

当日用意された27台の『TZR250』は、文字通りのフル回転。また試乗会とあわせて開発スタッフによる『TZR250開発ストーリー』の紹介や元ヤマハファクトリーライダー金谷秀夫氏による『レース裏話』なども披露されて人気を呼んでいました。

「自分で感じとったTZR250の速さとか乗りやすさが、何によって裏づけられているのか、開発ストーリーや金谷選手のはなしを聞いて十分に納得できました。アルミ・デルタボックスフレームやクランク室・リドバルブエンジンなど本当にYZRのテクノロジが生かされているんですね」と参加者みなさんも大満足。『TZR250新発売告知・購入促進、オビニオンリーターの育成』という当初の目的にも大きな成果を収めた『TZR250ミーティング・イン・SUGO』の1日でした。



**中型二輪免許専用試験車・教習車  
FZ400L新発売**

中型二輪のベストセラーFZ400Rをベースに、より確実でスムーズな教習・指導のための充実した装備を施したFZ400Lが、'86年1月より新登場しました。

商圏内の自動車学校に、ぜひご案内ください。

# TZR250が 改めて、走るバイクの楽しさを教えてくれた。

さて最後は、全国につきつぎに誕生している、「TZR250」ユーザーの代表に、購入の動機と購入後の満足度を語っていただきました。

## ●レベルをはるかに越えた バイクの良さに目惚れ

24才の自動車セーラムン・石井直紀さんは、16才と同時にバイクに乗り始め、以来8年、RD50から「TZR250」まで乗り継いだバイクも7台を数えるというバイクファン。通勤に、ツーリングに、サーキット走行に、とバイクの楽しみも年ごとに幅広くなっていますが、そんな石井さんにとっての「TZR250」の第一印象はというと――  
「初めてTZR250の写真を見たときは、正直ショックでした。YSP成増の人が説明してくれなければ86年のTZR250だと思っていましたよ。友人がロードレースをしていたり、私自身もよくサーキットへ出かけているいろいろなマシンを見ていたので、こういうタイプのマシンを見る眼は多少なりとも持っているつもりですが、ひと目見た時に『市販車のレベルをはるかに越えている』と思い、その時には購入を決めました(笑)」

こうしてYSP成増(板橋一男社長)さんから納車された「TZR250」は、期待どおり即座に石井さんの心をしっかりと魅了してしまいました。

「さっそくサーキットで走ってみました。高速からかなり思い切ったブレーキングしてもまったくブレない。高速コーナーでもすごく安定していて自然にアクセルを開けてしまう。コーナーの立ち上がりで『エッ、こんなにスピード出したの!』なんて自分で驚いてしまったくらいです。  
通勤にも使っていますよ。低速があるから公道でもすごく乗りやすい。3速で走っていてスピードがダウンしても、そのまま加速できる、扱いやすいエンジンに本当に感心しています。」

私がヤマハを好きなのは、レブリカのようなタイプでもスタイルを真似たり、パワーを過激にしたりしないで、ユーザーはあくまで一般公道で多目的に乗るんだ」ということを忘れない。オイルを喰わない、煙が出ない、音が静か、それでいて乗りやすい高性能な、ライダーのハートをつかむモデルを作ってくるところなんです。TZR250」でまたまた好きになりました」

こうした他にも、コントロールラブルなブレーキや切れが良く渋滞した道路もらくに走れるハンドルなど、細かな点でも大いに満足している石井さん。サーキットから毎日の通勤まで、「TZR250」で走りの楽しさも一段と深まっています。

「今のうちにサーキットランがブームになる前からフィスコとツクバに月2回くらい走りに行っていました。他人に迷惑をかけずマシンの性能を100%楽しめるのはサーキットしかありませんからね。TZR250」のおかげでサーキット通いはまたまた増えそう。ツーリングにももっと行きたいですね。サーキットとはまた違った楽しさがあるし、「TZR250」の幅広いポテンシャルを楽しんでみたいですからね。ともかく「TZR250」は、僕に改めて『走り』の楽しさを知らしめてくれたバイクです」

どこを走る時にも楽しく乗りたい、という石井さん「TZR250」での通勤途中でも「ひとつひとつの性能を楽しみながら乗っています」というほどの惚れ込みようです。



バイク仲間と顔を合わせると話題はもっぱら「TZR」という石井さん(左)



通勤からサーキットランまで、TZR250で走りの楽しさを再認識

●特集

'86年  
満足度120%で  
お客さまを確保

■サーキット走行はお客さまにとって貴重な体験

YRSサーキットラン

# お金では買えないサービスの提供が満足度を高め、お客さまを育てる！

北海道スピードパーク、スポーツランドSUGO、筑波サーキット、ヤマハコース、中山サーキット、西日本サーキットと全国6カ所のサーキットにのべ7000名の受講者を集め、「YRSサーキットラン」は昨年大盛況のうちに、のべ70回にもほる日程を消化しました。

スポーツバイクのお客さまに、サーキットでの高速走行を体験し、マシン性能を100%満喫していただく、国際A級ライダーとヤマハインストラクターの指導で確かなライディングテクニックを修得し、安全運転に役立てていただく——そんな主旨でスタートして早くも今年5年目を迎える「YRSサーキットラン」は、いまやスポーツバイクのお客さまに対し、サーキットを体験していただくチャンスを提供するイベントとして、すっかり定着したものとなっています。もちろん、こうして人気を集めている背景には販売店みなさまの日頃の動員活動に加え

「大衆」から「分衆」へ、「顧客」から「個客」の時代へ——などお客さまの嗜好やニーズの多様化を表現する言葉がにぎやかにとびかう昨今です。しかし、ことスクーターやスポーツバイクについていえば、代替、新規の別なく、'86年お客さま獲得の決め手は、充実したアフターサービスの展開にあるといえそうです。

120%の満足で他店との差別化をはかる——そんな販売店さんのために、ヤマハでは従来からさまざまなアフターサービスのための活動を提供していますが、新しい年のスタートに改めてそれらの活動と販売店みなさまのご活用ぶりを紹介しましょう。今年こそ、これら活動をフルに活用されてお店でもお客さまの満足度アップをおはかりください。

て最近のロードレースブームなどもその大きな理由として考えられますが、では実際お客さまにとって、どんなところが魅力となっているのでしょうか。

この「YRSサーキットラン」を実際の販売面にフルに活用されているYSP川崎さん（佐々木誠社長／川崎市鶴見区）を訪ねてみました。

## ●プレミアムとしての『YRSサーキットラン』

「最近サーキットでのスポーツ走行の予約をとること自体が、たいへんな時代になっているんです。予約を取るとなれば、それだけで1日仕事にもなりかねない情況。頑張つて予約を取ったとしても実際に走れるのはせいぜい1時間から1時間半。当然走行する当日はそれだけで1日が費やれてしまうわけで、結局わずか1時間の走行のために2日分の労力が必要となってくるんです。

純粋に、ロードレースをやりたいという人は、多少無理をしてもそうして走行時間を確保するわけですが、そうでない人、つまり普通のスポーツバイクのお客さまにとって、

「単純に『YRSサーキットラン』に参加しようというのでは、なかなか商売に結びつかないわけですよ。

「単純に『YRSサーキットラン』に参加しようというのでは、なかなか商売に結びつかないわけですよ。

「単純に『YRSサーキットラン』に参加しようというのでは、なかなか商売に結びつかないわけですよ。

「単純に『YRSサーキットラン』に参加しようというのでは、なかなか商売に結びつかないわけですよ。

昨秋、YSP川崎さんが実施した「ラスト・サマー・プレミアム」でヤマハコースでの「YRSサーキットラン」に参加したお客さまたち



をお買いあげのお客さまに、お金ではなかなか買うことのできないサーキット体験をプレゼントするというプランなんです。ラスト・サマー・プレミアム」と銘打ったこの佐々木社長の販促プランは、期間中に1



25cc以上のスポーツバイクを購入されたお客さまを「YRSサーキットラン」にご招待するというもの。

YSP川崎さんでは昨秋このセール期間中

## ●「モノ」からの方向転換でお客さまの満足度をアップ

「参加したお客さまが本当に喜んでくれるんです。『また行きたい。また行きたい』ってね。しかも、サーキット体験の印象は後あとまでお客さまの心にしっかりと残りますから店内やツーリング活動の中での話題としてもとても貴重なんです。

おまけに経費が安い。お客さま一人当り8800円(YESSE会員)の参加費を負担するだけです。ヘルメットなど用品をサービスすることに比べれば格段に安くすみますしね。それに最近の若い人は、いわば消極的。こちらで用意をしてあげれば「行きました」といいますが、わざわざ自分でサーキット走

12名のお客さまの成約を実現し、昨年10月にこの12名のお客さまを静岡県袋井市・ヤマハコースでの「YRSサーキットラン」にご案内して、お客さまからの好評を集めました。

行を体験してみようというほどの積極性もっていないんですね。そんな中で、お客さまの満足度を少しでも高めていくには、「モノ」からの方向転換が必要だと思っんです。お金では買えないサービスを提供してあげる。

その意味でも「YRSサーキットラン」は最高ですね。サーキット走行という貴重な体験をプレゼントする、それによってさらにお客さまのバイクに対する関心、楽しみ、愛着なども深まっていくんですからね。今年ももっと活用していきたい。最低でも2回はヤマハコースにお客さまをご案内したいと思っっています」

## ●YRS参加者のフォーロアアップにサーキットラン・クルー・システムも発足

佐々木社長のお話にもあるように、お客さまの育成という面でも大きな意味を持つ「YRSサーキットラン」。そこでYESSEショップとスタッフのみなさんを対象に、「YRSサーキットラン」にご参加いただいたお客さまのフォーロアアッププランとして、今年度からは「YRSサーキットラン・クルー・システム」もスタートします。

お客さまとのコミュニケーションを深め、お店のオピニオンリーダーとして、よきパートナーとして活躍いただくというこの、「YRSサーキットラン・クルー・システム」もあわせて、'86年どうぞお店の「YRSサーキットラン」活用計画をご検討ください。

へなお、YRSサーキットラン・クルー・システムの詳細は、本誌29ページをご参照ください」



「販売店にとって一番大切な普通のスポーツバイクのお客さまに、サーキット走行のチャンスを提供し、お客さまの自慢話を聞いてあげる。スポーツバイクの販売にはとても大切なことですね」と話す佐々木社長（右端）

オンロードバイクのお客さまが半数以上を占めたYSP調布さんの『オフロードYRS』。\*自店開催の参考に。とYSP高井戸・伊達社長(右から3人目)も体験参加。「これならウチでも開催できるし、お客さまにも喜んでもらえそうですね」と自信を深めていた



■お客さまとお店が一緒につくるカリキュラム

# 新しい「オフライヴ」で、お客さまのニーズをしっかりとラフォー!

オフロードYRS



「これからもどしどし『オフロードYRS』を」と張りきる桑山店長(右端)とスタッフのみなさん

「トレールモデルは伸び悩んだね」という声を最近よく耳にします。  
「オフロードは1人では楽しみにくい。だから初めてバイクに乗ってみようという人には取りつきにくいんだよ」などという話も聞かれます。

しかし、本当にそうでしょうか。オンロード全盛のように思われている昨今でも、確実にオフロードユーザーを増やしているお店も決して少なくはありません。そしてそんなお店に共通しているのが、ここにご紹介する、「オフロードYRS」や、次ページにとりあげた「YES活動」などの普及活動を通じて、お客さまを楽しく安全にオフロードの世界に

## ●お客さまが自在に選択できるカリキュラム

この一新した「オフロードYRS」は、スクーターやオンロードスポーツユーザーでオフロードを始めて間もない人や、まだオフロードの楽しさを知らない方を対象とし、販売店さんご自身で開催いただくもの。

そして、こうしたオフロード入門者を対象にしたファーストコース(Fコース)のカリキュラム(次ページ参照)を中心に開催。さらにお客さまのレベルアップにあわせて、ミドルコース(Mコース)やトップコース(Tコース)へとステップアップできるものとなっています。

しかもそのカリキュラムは、参加されるお客さまご自身が自分たちの技量や好みにあわせて組みあげることができるという、いわば



開催1週間前にはお店で「ユーザーミーティング」を開催。お客さまの技量や志向として希望を確認しながら、カリキュラムを煮つめる



'86年、満足度120%で  
お客さまを確保

参加するお客さまと主催する販売店さんが一緒に企画するものなのです。

オフロードの基本ライディング技術を身につけることを通して安全運転に役立てていく、という方向で広がりをみせてきた。オフロー

●ロードスポーツのお客さまに  
貴重なオフ体験を!

昨年10月、山梨県は本栖湖に近い富士バイクランドに23名のお客さまを集め、さつきこの新システムの「オフロードYRS」を開催された「YSP調布」(桑山周三店長)さんのケースを紹介しましょう。桑山店長と当初初めてインストラクターを務めた従業員の西池耕一さんにお話をうかがいました。

「クラブ員はオン・オフ合わせて100名ほどいるんですが、オンだけしか乗ったことのない人が結構いるし、そういう方にオフを味わっていただくと思って……。で、普段はオンに乗っていて、オフも一度は乗ってみ

●お店の個性を主張できる『オフロードYRS』

そしてこの「オフロードYRS」の開催は、その後のお店での「オフ気運」を一気に向上させたのです。その状況を西池さんは「今回の開催がきっかけとなって、お客さま同志で毎週河原へ走りに行ったりするようになりました。今度は西池さんと勝負しますから」なんて言われたりしているんだ」といいます。

そして今年の「オフロードYRS」への期待をこう話されています。「オフロード教室とひとことで言っても、その内容はさまざまですね。レベルの差はもちろんのこと、参加するお客さまの志向の違いもありますから。

実際、D.T的な参加者にはジャンプ走行などを教えてあげなくてはならないし、一方セロー的な参加者には坂道でエンストしたときの再始動のコツなども教えて

ドライディングスクール」は、いま、さらに現場に密着し、お客さまの声を反映。お客さまご自身でオフロードの楽しさを発見し、拡げていく「オフロードYRS」として、新しい一歩を歩みはじめたというわけです。

●ロードスポーツのお客さまに

いなア」と思っていそうな店の常連の方を中心に今回は声をかけたんです」と桑山店長。「そして実際のカリキュラム内容を打ち合わせるユーザーミーティングを参加予定者を集めて1週間前に開き、そこでカリキュラムを煮つめた上で実施したんです」

開催当日は、オフの経験まったくなしという方が13名(セローを買ったばかりというお客さまを含む)、経験少々という方が10名と計23名が参加。Fコース、Mコースとクラス分けしての「オフロードYRS」が、午前10時から夕方4時まで、たっぷり行なわれました。

あげなければならぬ……というようにね。また、エンテューロ志向のお客さまもいらっしやる。

だから、単に技量でのクラス分けだけでな

★新しいオフロードYRSの  
基本カリキュラム

◎は必須課題 ○は選択課題 △は省略または復習課題

課 題	Fコース	Mコース	Tコース
1 柔軟体操	◎	◎	◎
2 車両点検	◎	◎	◎
3 基本乗車姿勢	◎	◎	△
4 発進・直進・停止	◎	◎	△
5 コーナリング	◎	◎	◎
6 スラローム	◎	◎	△
7 上り、下り	◎	◎	◎
8 キャンパー	◎	◎	*◎
9 ギャップ	◎	◎	◎
10 ジャンプ	◎	◎	◎
11 悪路面、障害物	◎	◎	◎
12 ステアケース	◎	◎	◎
13 アクセルターン	◎	△	△
14 ブレーキターン	◎	◎	◎
15 カウンターステア	◎	◎	◎
16 応用ゲームまたは周回走行	◎	◎	◎

\*オフキャンパー

く、志向の部分での「オフロードYRS」の色づけをしていく必要があると思うんです。その意味で、この新しい「オフロードYRS」は店の色、店の個性をも主張できる最高の教室なんです。だって、私たち店のスタッフとお客さまが一緒になって事前にミーティングをもち、カリキュラムを煮つめていくという形をとっているんですからね。いずれにせよ、1日参加して汗を流してもらえれば、上

手になった」と体感して帰っていただけのもオフならではの楽しさ。次の開催についても、お客さまとの話はもう進んでいるんですよ」

このようにより開催しやすく、よりご商売に直結させやすくなった新しい「オフロードYRS」を、'86年あなたのお店でもぜひ開催されてみてはいかがですか。インストラクターはズバリ本誌読者の販売店のみなさまです。



23名の参加者の中には、まったくのビギナーや5名の女性も

ヤマハライダー河崎裕之選手（後列右から2人目）もカスんでしまうほど、にぎやかな「ジェネシス」さんのY.E.S.S.スタッフ（昨年4月のバイクビレッジ・イン・箱根で）



■より地域に密着した活動も積極的に展開

# お客さまの遊びごころを満たすY.E.S.S. その満足感がお店とのキズナを強める

Y.E.S.S.活動

「Y.E.S.S.」イエス、この歯切れのよい響きとY.E.S.S.の名のもとに日本全国で展開されている多彩なスポーツイベントは、3年目を迎えたいま、日本中のバイクファンにすっかりおなじみのものとなっています。

'84年夏、バイクによる遊びの機会と場所を積極的に提供し、バイクをスポーツとして健全に普及させていこう、という大きな目標を掲げてスタートしたY.E.S.S.は、昨年まで組織づくりを中心に活動を展開。いまでは、加盟ショップさんの総数1500店、Y.E.S.S.スタッフの人数3万5千人を数えるまでに成長をとけています。

そして、開催イベントも、全国8プロロックのサマーフェスティバルを頂点に、ツーリングの楽しさを飛躍的に拡大したユニークな企画として人気の高い「バイクビレッジ」や、日本航空とのタイアップで実現したジェットツーリングプラン「ビッグバム」など、Y.E.S.S.ならではのメニューをつぎつぎと増やしてきました。

お客さまにすばらしい「遊び」を提供し、これを通じて生まれるお客さまとお店の太いきずなによって、お客さまの満足度を格段に高

毎月2回のY.E.S.S.スタッフによるツーリングには30名以上が参加する



めていく、このY.E.S.S.活動こそ、'86年お客さまが最も求め、そしてお店にとって欠かすことのできない活動といえそうです。

そこで、さっそくこのY.E.S.S.活動に積極的に参加され、お客さまの固定化に大きな成果を上げている東京都中野区の「ジェネシス」森永弘三社長さんにお話をうかがいました。



## ●スタッフ数230名！YESSEイゼント、 独自イゼントあわせて'85年は20回以上も開催

「スポーツバイクといえばやはり趣味で乗るものですから、これからの商売のポイントとしては、この趣味の部分の楽しさとかフィーリングみたいなものを満足させ、訴えていくことが大切だと思うんですよ」と、開口一番熱っぽく語る森永社長。

この言葉通り「ジェネシス」さんでは、姉妹店の「YSP目白」さんとともに、YESSEを中心とした数かずのイベントを開催し、徹底したアフターフォローでスポーツバイクの拡販を図っています。

「今うちでは、店のクラブとYESSEが合体したような形を取っていて、昨年はサマーフェスティバルやバイクヒレッジなどのYESSEイベントとサンデーバイクスクールやジムカーナ大会、それにツーリングなどの店単位のイベントを合せて、年間に20回以上もイベントをやっていますね。」

## ●'86年、さらさらご商売に直結するYESSE活動

「今年のYESSEに期待しているのは、これらの面での、もう少しキメ細かいフォローですね。YESSEという大組織単位の活動だけではなく、もう少し地域に密着した、特性に合わせたイベントも開催できると思います。今でも入会やイベント申込みは店を通して行なうわけですから、店とスタッフとはかなり近いところにいると思いますけど、もっと気軽に参加できるようなイベントが増えれば、この絆はもっと太いものになりますからね。そうすれば、YESSEに入ってよかった、ヤマハ車に乗ってよかった」というユーザーの声がもっと大きくなると思います。YESSEのスタッフが増えるということは、それだけヤマハ車が売れやすくなる、ということですからね。」

言うと、単なるユーザーサービスじゃなくてやはりユーザーを固定化したい、代替や紹介販売などの実販に結びつけたいからなんです。来店してくれるお客さんだけだったら、会話の中で十分フォローはできると思うんですが、大多数のお客さんはよほどの用事でもない限り何度も店には来ませんから。」

そんなお客さんをシッカリと固定化するのは、やはり店の話題性であるしイベントだと思えます。ユーザーは自分のバイクをフルに活用できる「遊び」の場を求めていますから、それに、どこかの場所にお客さまが集まるというのは、代替促進にも有効だと思うんですよ。自分一人だけでバイクを楽しむなら、乗っているバイクはなんでもいいわけです。他人を意識するからこそ新車がほしくなるんですよ(笑)。そういった意味でもお客さまへの「遊び」の訴求は絶対必要ですよ。」

こうした販売店さんのご要望に応え、今年'86年のYESSEは、春一番のビッグイベントとして予定されている「ビッグバム・イン沖繩」を皮切りに昨年以上のイベントを計画。同時にヤマハ販売会社・営業所単位に細分化し、よりご商売に密着した活動が予定されています。これは、ヤマハ営業所単位の「YESSEショップ会議」を開催し、地域ごとにYESSE加盟店のみならずヤマハが協力して、より身近なご商売と直結した活動を展開していくというもので、すでに各種スクールの全国的な開催などが計画されています。いずれにしても、YESSEスタッフは、販売に直結する最も身近な需要層。スタッフフリートなどのより有効な活用で、積極的にご商売に取り入れたい、3年目のYESSEです。



バイクヒレッジでVマックスにまたがる森永社長「私とバイクの出会いには北海道をバイクで走ってみようと思った時からこんな思いを持つお客さんも多いと思いますよ」と、ユーザーの立場に立って、遊びの提供の大切さを語ってくれた

「2～3年先には、古いお客さまが新しいお客さまにいろいろ  
メカやメンテナンスを教えるように……そんな店が理想ですね」  
と語る斉藤英樹さんとお父さんの喜一郎社長



■整備技術はアフターサービスの第一歩

技術講習会

# 技術力は、お店にとって絶対条件 ヤマハ技術講習会で確実にレベルアップ

さて最後にとり上げたのがお店のサービス技術力とそのレベルアップに最大限にご活用いただいている「ヤマハ技術講習会」です。いまやお客さまにとって、販売店さんの高度な技術力は、あつて当たり前”のもの。他にどんなサービスがあつても技術力に対する信頼が持てなければ、満足”はもとより、来店”も期待できない、とさえいえるでしょう。

そうした中で、販売店さんの技術力アップに大きな役割を果たしているのが、静岡県磐田市と東京、神戸・九州のヤマハ研修センターで開催されている「ヤマハ技術講習会」です。

昨年も1～10月までにのべ365名の受講生を集めて、55回にわたって開催されたこの「ヤマハ技術講習会」の特徴は、なんとといっても2サイクルがRZ250RR、また4サイクルがFZ400Rというように、最新のベストセラーモデルを使って、すぐに役立つ”サービス技術をマスターすること。そして1回の定員もわずか8名に絞り、少数で密度の高い講習を行なっていることです。そのため「サービス技術の修得ばかりでなく、一般的な技術知識や商品知識もクツと深くなる」と受講生のみなさんの好評を集め、2サイクルコースを修了した方が、その後4サイクルコ

## ●理論と技術の両面を身につけて、販売にも絶大な効果

東京・足立区の国道4号線・日光街道に面して'84年の4月にオープンした「YSP竹の塚」(斉藤喜一郎社長)さんは、お店のサービ



サービスルームには工具が完備。ヤマハ全車のサービスマニュアルも揃って、お客さまがいつでも見られるようになっている。これを目当てに毎週来店されるお客さまもいるとか



ースも受講されるケースが目立って増えています。

ス技術力を募って20代の社会人ユーザーが数多く集まるお店。そして、ここでサービスを担当しお客さまの信頼を集めているご子息の

特集  
 '86年、満足度120%で  
 お客さまを確保



「YSP竹の塚」さんが、とくにサービステクニクに重点を置いているのは、ご自身もビッグバイクユーザーの1人としてバイクに親しんできた英樹さんのお考えによるもの。ユーザーの立場から、こんなお店だったら、こんなサービステクニクをしてくれたら……」と思いつづけていたことを、いまそのまま実践されているというわけです。そして、いまや「YSP竹の塚」さんの人気のマトとなっている、お客さまへの工具の貸出し、サービステクニク

●技術講習会の成果をお客さまに還元

「YSP竹の塚」さんが、とくにサービステクニクに重点を置いているのは、ご自身もビッグバイクユーザーの1人としてバイクに親しんできた英樹さんのお考えによるもの。ユーザーの立場から、こんなお店だったら、こんなサービステクニクをしてくれたら……」と思いつづけていたことを、いまそのまま実践されているというわけです。そして、いまや「YSP竹の塚」さんの人気のマトとなっている、お客さまへの工具の貸出し、サービステクニク

▲理論と技術の両面からサービステクニクをマスター  
 エンジンのオーバーホールも必須課題。改めてメンテナンスのおもしろさを認識される受講生も多い



提供、技術アドバイスも、そうした発想から生まれたものです。「ブレーキパッドの交換、オイル交換、チェーン張りなど工具さえあればお客さまでもできるようなメンテナンスのために、工具を貸し、スペースを提供し、教えてあげよう」と始めたんです。交換部品が有料で、他は無料。お客さまにとっても維持費が節約できるうえに、いじる楽しみもあって好評です。この目的は、本当が「ヤマハ技術講習会」で身につけた知識と技術をお客さまにも還元したい、バイクを自分でいじることでバイクに対する理解と愛着を深めて、長く乗りつづけて欲しいからなんです。もちろん、行

く身につけられたことですね。どちらか片方だけが先行してしまっても、お客さまの要求には答えられませんが、すぐに信頼をなくしてしまうものですかね。それに、「TZR250」が新発売されても、単純にカタログデータをお客さまに押しつけるのではなく、クランク室・リードバルブの構造やメリットなども説明できるように、営業面でもずいぶん役に立っていますよ」



き届いたメンテナンスは、安全運転にもつながりますしね……」  
 「YSP竹の塚」さんでは、お客さまとの商談の時に、こうしたお店のアフターサービスに対する姿勢をしっかりとお客さまに伝えたいです。そして、こんな姿勢がお客さまの

信頼を集め、固定客の代替や紹介販売を増やしています。  
 なおこの「ヤマハ技術講習会」は、'86年もより販売店さんの実情に即したカタチで開催されていく予定になっています。お店でもどうぞご利用ください。

1ビット2人で実技指導を進める「ヤマハ技術講習会」。「わからないことは無くして帰ろう」がモットーとあって、受講生からの質問がつぎつぎにとびかう

# うちのヤング客応待法

最近のヤングって、一体何考えているのかわからない……なんて悩んでいるお店、ありませんか？

若い人に合わせるんじゃないやなくて  
若い人たちが店に合ってます

林秀一さん・34才(フツドフツドファミリー/福岡  
県筑紫野市)

ウチに来るお客さんというのは、オフロードが本当に好きで走るのが楽しくてしょうがないって人たちがばりだから、ミーハーなタイプがいらないんですよ。だから一般的などころで言う若い人たちの傾向はちょっと判らないんです。見た目よりかなりネアカで、マスクミで言われるようなツッパリもない。ウチのやり方っていうか、若い人たちの接し方っていうのはちょっと他とは違って、



たとえばオフロードを始めたいっていう人を最初トレールランに連れて行くときは、普通やさしいコースから始めないと、辛くて次に来なくなるって言われてますけど、ウチでは最初からかなり難しいコースへ連れていくんです。一緒に難って汗をかいて。

それでも10人中8人や9人はまた店へ来てくれる、今の若い人たちは根性がないなんて言いますけど決してそんなことはないですね。ウチではなんでも自分でやらせているんです。特に女の子なんかは、人に何かやってもらうのに慣れちゃってますけど、男の子も女の子も差別なく自分でやらせます。まあ、オフロード一本っていう感じでやっていますから、世間の流行も別に気にしないし、ウチのやり方で平等に接しています。そのうちに若い人たちがウチの色に染ってくるんじゃないですか。若い人たちの中へ入っていくというよりも、若い人たちの兄貴みみたいな存在でいたいと思っていますから。

## 10代の女の子って何を考えているか判らないですネ

松丸広則さん・21才(モトサイクル・ベル/千葉県柏市)

年代が近いので男の子のことは良く判るんですよ。素直な子と内に秘めちゃう子と、両極端っていう感じですけど、内に秘めちゃう子には多少強いことを言っても心を開かせちゃいますね。相手が怒っても、そこから会話がはじまったりしますから。あまり歳の差

がないからできるんでしょいうけど、

でも、総合的にみるとウチは明るいお客さんが多いですけどね。ちよっと足りないっていうか(笑)。類は友を呼ぶって言うでしょ(笑)。暗い子がお客さんの中に一人いたんですけど、明るくなっちゃいました。いろんな子がいるけど、大方はちゃんと自分の考え方を持っていて、「こういうのどうだ」なんて聞けば、「こっちの方がいい」なんて答えますからね。

それより判らないのは女の子で、僕たちの年代でも10代の女の子はむずかしいですよ。バンクの修理ひとつにしても店の前でウロウロしてて、こっから「どうしたの」って聞かないと答ええない。あと団体でくる娘とかね。5人ぐらいで入ってきて、「すみません、バンクなんですけど」なんて(笑)。こういうのってウチの店が入りにくいってことだから、これから店の雰囲気づくりも考えていかなきゃ入ってきたらどんな娘でも、やさしく接していただきます。よほど可愛い娘でも来れば別ですけど、だいたいは平等にやさしく接していただきます(笑)。でもその前に、男の常連さんが多いので、女の子が入ってくるとそっちに視線が集中してしまう。まずその視線を遠ざけることがひと仕事ですけどね(笑)。

## 情報はテレビから

高橋喜一さん・51才(高橋オートサイクル/愛知県豊川市)

家内と一緒に商売やってるけど、若い娘が来て私で十分対応できますヨ。別に気にしませんよ。若者のことは若者向けのテレビ番組なんか見ればだいたいの情報は得られるしそこでしゃべっていった流行語なんかを若い人が来たときに使ったりすると、相手がビックリしたりしてね(笑)。

それと、店頭での対応の仕方としては、着ているものを見て相手を判断しますね。まあ、ツッパリならツッパリなりに、こっちはもちよ

## お便りください。

このページは、ヤマハ販売店さんのお便りをつくるページです。ご商売に関すること、お客さまにまつわる話題、ヤマハやヤマハニュースに対するご意見、ご希望など、どんなことでもけっこうです。もちろん写真、イラストも大歓迎。左記宛ふるって寄ってください、お待ち申し上げております。

〒438 静岡県磐田市新貝2500  
ヤマハ発動機株式会社 広報室・宣伝課  
「ヤマハニュース」編集部

つと言葉づかいを荒くしたりして。気を使い過ぎるのが一番良くないんじゃないかな。こっちは言いたいことを言えば、向こうからもズバズバ答えが返ってきますよ。あまり気を使ひすぎるとギョコチくなりますから。まああまり心配しなくても、雑誌やテレビで報道されているより、若い人たちは素直ですよ。それに服装を見れば、好みのバイクも解るんです。たとえば、ピンク系の洋服を着ている娘に「今度こんなのが出たんだ」と言っつてピンクのキュートなカサすめると、簡単に話が決つたりしてね。

あと大人しい子供ね。何を考えているのかよく判らないくらいに大人しい子っているでしょ。そういう若い人は、質問攻めにしちゃうんですよ。どんなのがほしいの?とか色はどれがいいの?っていう具合に、こっちはから色々聞いてやれば、ちゃんと答えてくれるし店にも馴染んでくれますよ。

コッは普通に接することですよ。



## ヤマハニュースアンケートにご協力ありがとうございました。

昨年度のヤマハニュース9月号で実施しました「ヤマハニュース」読者アンケートにはたくさんの方のご協力をいただき、ありがとうございました。

お寄せいただいた回答は、さっそくそれぞれの分野でフルに活用させていただきます。改めて御礼申し上げます。  
「ヤマハニュース編集部」

# YAMAHA RACING SPIRIT

証言で綴るヤマハ挑戦の記録

最終回

## あくなき挑戦・受けつがれる ヤマハ・レーシングスピリット



昨年ついに史上初のV3を達成した平選手とYZR500

### 平忠彦、 ヤマハファクトリーへ

「将来性のあるとても良い選手がいるネ」  
'82年のTBCビッグロードレースでケニー・ロバーツ選手がふとそんなことを口にした。ケニーの目に止まった選手とは当時500ccクラスで駆け出した平忠彦選手である。'81年にヤマハのセミワークスとして入ってきた平選手はメキメキと頭角を表わし、'82年の実質戦力はおろか、新世代のヤマハを担う有望な選手として一身に期待を集め始めていたのだ。

「ヤマハとの関係は、'80年に国際A級350ccクラスで全日本チャンピオンになった後、スポーツライダーズを通じて契約を結んだ時です。'81年にプライベートからセミワークスとなったのです。契約の条件として、自分は500ccクラスを目指しているんで、500ccのマシンに乗せて欲しい、という要求を出しました。ヤマハは自分に期待をかけてくれたのでしよう。気持ちよくOKしてくれました。それまでの人生であの時ほど嬉しかったことはないですね」

その時の感激が心に強く残っているのか、平選手は語気を強めながら続ける。

「しかし、ヤマハに入ったのはいいけれど、金谷、高井、浅見、上野というそうそうたる先輩たちがいましたから、一緒に行動する時など、すごく緊張しましたね」

ヤマハ入り以来、平選手は50年代からヤマハの良き伝統として受け継がれてきた。徒弟制度を自分自身のプラスにしようと精一杯つとめた。それは、人間として気が付くべきところで気がつくように、というごく基本的なことがきちんとできなければ、コンマ1秒を賭けて闘うロードレースで他から秀でることはできない、それを身をもって知ったからである。

「ヤマハに入って2年目。やっと水に慣れてきたのは良かったのですが、テストの厳しさには本当のところびっくりしました。私はま

だ開発グループとは別だったのですが、先輩たちと技術陣たちとのやりとりといったら、それこそビビリリリとして怖いムードさえ漂っていました。最高のマシンを作るには、全身全霊を尽さなければならぬ、ということがそうやって少しずつわかってきたんです」

あの本橋選手や高井選手が内藤監督や畑監督に徹底的にしこかれた70年代のヤマハと変わらぬ、80年代もこうしてシビアな開発姿勢が続いている。ヤマハ・レーシングスピリットのもう一つの側面である。



「ヤマハは、乗る人のことをまず第一に考えている…」と平選手

## 平、河崎、最強「バイク」の出現

着実に成長を遂げつつある平選手は、84年からいよいよワークスライダーとして迎えられる。

「ヤマハのワークスとなった以上はV2を取らなければ、という使命感が湧いてきました。と同時に徐々にですが自信がついてきたのですが、それはとりもなおさず83年からヤマハワークスとしてカムバックした河崎先輩がいたからです。もちろん彼はレースにおいても人生においても大先輩。ゼツケンを背負う自分としては河崎先輩の存在はとて支えになつたんですね。たとえばセオリーを大切にしたり走りも自分の反省の材料になるし、何とんでもマシンを操る本当の難しさ、奥深さをいろんなカタチでアドバイスしてくれたからです」

平選手にとって河崎選手の復帰はとても幸運だった。良き先輩であり、良きライバルとして、平選手の成長の大きな糧となっている

スを与えてくれました。TZ500しか知らなかつた私にしてみれば夢のようなことです」

故高井選手はいつも追われる立場。つまりトップの座にありながら、すでに次代のヤマハを任うべき選手を大切に育てようとしていたのである。高井選手のそんな思いを平選手は敏感に感じ取り、その期待に応えようと懸命の努力を重ね始めた。

そして、いよいよ83年から平選手は念願の500ccクラスで走ることになる。マシンはフルシーズンにわたってワークス仕様というわけではなかつたが、とがくを与えられたチャンス逃がすまいと必死になった。

「市販のTZ500では限界でしたから、ワークスマシンに乗れる時はそれこそ全力を振り絞って自分の実力を試してみたかった。そんな思いで1年経つたら、チャンピオンになつていたので」

平選手はランキング・ポイントよりもまず自分の走りに全力を尽した。それが最高の結果に繋がったのである。

からである。

80年代初頭からのヤマハロードレースの足跡を振り返ると、まず80年にパトリック・ポンスによってデイトナ200優勝。ケニー・ロバーツが世界GP500ccクラスで3年連続チャンピオンを獲得。また、350ccクラスではメーカータイトル。そしてサイドカークラスでも、4年連続メーカーチャンピオンとなる。

81年と82年にもデイトナ200に優勝を飾り、11年連続という記録を打ち立てるなど快進撃が続く。83年には平選手が全日本チャンピオンを決める一方で、世界GP250ccクラスでカルロス・ラバートがタイトルを取るなど、レースのヤマハの歴史を着実に積み重ねていった。

そして84年。平選手が再び500ccクラスで全日本チャンピオンを決めたのに呼応して世界GP500ccクラスでもエディ・ロー

ソンがチャンピオンとなる。彼らのライダーとしての才能もさることながら、やはりYZR500の戦闘力の何よりの証であろう。そしてその裏には、開発能力の点でも高い評価を集める大ベテラン・河崎選手の存在があった。河崎選手はヤマハへカムバックのいきさつを次のように語る。

「以前から高井選手とは仕事を離れたところでも仲良くやっていました。でも彼の仕事に対する情熱には心が動かされることしばしばでした。彼が亡くなったことで、私としても彼の志をそのまま継いでみようと思つてヤマハに戻ることを決めたのです。もともとヤマハのレーサーというのは、人



スタート前のひととき、メカニックの作業を見守る河崎(左)、平(右)の2人。競技役員として活躍する金谷氏がその2人に加わる……こんなさげないシーンにも受けつがれていくヤマハレーシングスピリットが(昨年6月の鈴鹿200kmで)



ヤマハにカンバックした'83年の日本GPを走る河崎選手とYZR500「このマシンが、翌'84年、E・ローソンをワールドチャンピオンにしたYZR500ベースなんです」



間の感性をととても大切にしていますが、私はそれをもっともつと伸ばしてみたい。'84年の世界GPと全日本での500cc両制覇はそのひとつの結果だと思います」

河崎選手は常に乗り扱いマシンを目指している。いかなれば誰にでも乗れる世界最速のレーサーである。そんな河崎選手のレーサー作りへの熱い思い入れに勝るとも劣らないのが監督をはじめとする技術陣の情熱である。「溝口監督は、ライダーの喋ったことをすべてメモし、家に戻ってからその言葉を分析していました。ライダーの表現には同じ言葉でもそれぞれに微妙な差異があるのですが、それを正確に知ることによって、マシンのす

べてを把握しようというわけです。その分析結果は後々の開発速度にも大きく貢献したのです。それに私自身も、頭に浮かんだことは夜中であろうとどこだろうが、まっ先に前川監督に連絡することがあります。ヤマハには昔から乗り手と作り手が一体となってマシンを開発するという伝統が残っているからなんです」

しかし、そうはいっても河崎選手は、とくにレースを引退しても良い年令である。なに彼はレースを止める気配など全くない。「そろそろ引退しようかと思つたことがありましたが、ある時ケニーにもう1年乗つた方がいい、といわれてそれ以来ずっと現役の

ままです。とにかく今は、マシンの開発がともやりがいがあるので当分止められそうもないですね」

平選手がレースライダーとして活躍し、河

## 厳しさがら、信頼が、そして調和が生まれる

とて今現在のヤマハワークスは一体どんな雰囲気なのだろうか。河崎選手は語る。

「レースに対する基本姿勢は昔から少しも変らず厳しいものです。ライダーを非常に大切にしてい、安全が第一であり、次にライダーの意見というかフィードバックを重視する。



夜しまつてに河崎選手  
浮か電話に開発する  
アイディアを監督宅に  
「アイディアを監督宅に  
中まう……」マシ  
すます意欲をみせる

それにエンジニアやメカニック全員が1から10までレースというものを知り抜いている。お互いに強い信頼関係で調和がとれているチームだと思っています」

平・河崎の名コンビの活躍はこれからも日本中のファンから期待されるどころだが、河崎選手は長いレース人生を振り返って、若いライダーたちへのアドバイスをこのように加えてくれた。

「他の人よりも一歩抜きん出るためには今ひとつの努力を惜しまないこと。常に優れた人の考え方やテクニックを盗み出すつもりでいて欲しい。そして、現在の自分に満足してはならない。そうしないと一時期だけ速く走れても、すぐにダメになる。本当の強さ、速さは実はそこから先のことなのだと思う」

彼のこの言葉こそ、かつてのヤマハのライダーたちが実際に辿ってきた足跡であり、ヤマハのレーシングスピリットそのものであったともいえるだろう。

「ヤマハで頑張ってきて、私自身一番嬉しかったのは、レース・スタッフだけでなく、ヤマハのどんなセクションの人でも我々ライダー

崎選手が開発ライダーとして君臨するヤマハワークス。その中で平選手はもつと開発能力を身に付けたい一方、河崎選手は平選手のスピードには負けたくないと張り合う。

1のことをよく知っていて、よく励まされたことです。江口社長も私のことを知っておられて驚きました。ヤマハはみんながレースに関心を持っている。それは富士登山や浅間火山以来ずっと続いている伝統なので、まさにライダー異利に尽きると思います。

楽しいことはすぐ忘れるが、苦しいことを乗り越えた後の喜びは決して忘れられない。人生を振り返って本当に良かったと思えるようにこれからも頑張りたいと思います」

ヤマハの30年にわたる歴史は、そのままレースの歴史でもあった。GPシリンで華やかに活躍した、あの野口種晴、伊藤史朗、長谷川弘、益子治、砂子義一、本橋明泰、金谷秀夫、故高井幾次郎、鈴木忠男、鈴木秀明、木村治男、光安鉄美、そして平忠彦。彼らは異口同音に河崎選手と同じ気持ち思い浮べつつ、次なるステップへと進もうとしている。「GPレースから引退したケニー・ロバーツは、今でもレースやマシンについてすごい勉強を続けている。引退したというのに最近の成長ぶりも著しく、正直いつて驚かされつぱな感じです」

河崎選手が感嘆したように、キング・ケニーのこの姿勢こそヤマハレーシングスピリッツそのもの、といえるだろう。(おわり)

10回にわたりおつきあいをいただいた、このシリーズは今回をもって終わらせていただきます。「このページを毎月コピーしてYESSS会員に配布しています」という、仙台市のワンダーランド・タカダさんをはじめ多勢の方がたから途中いろいろなお便りをいただきました。ありがとうございました。

来月からは、「ヤマハらしさ」を追究する新シリーズがスタートします。どうぞご期待ください。

①

フオロー・ザ・トレンド  
仕掛人が語る、若者たちはいま

夕やけニャンニャン  
ディレクター  
坂間和夫氏



〔坂間和夫ディレクター・プロフィール〕1969年にフジテレビに入社、「今週のヒット速報」、「歌のスターバレード」のアシスタントを経て、「君こそスターだ!」よりディレクターに昇格。以後、「ママと遊ぼうピンポンパン」、「ズバリ当てましょう」、「おはようナイスデイ」、「クイズ知っテレQ」、「やじうまスコップ」、「わかるっチャー」等の番組作りを経て、1985年4月より「夕やけニャンニャン」の木曜日担当ディレクターとして活躍中。

スクーターもスポーツバイクもお客さまの中心は、ヤング。そんな若者たちの考え方やライフスタイルの変化を、このコーナーでは2年間にわたり、若者に人気の高い雑誌の編集長インタビューを通じてさぐってきました。

3年目に当ることには、さらに視野を広げ、さまざまな分野で若者のトレンド、流行をリードする仕掛人の方々に登場場があります。

まず第一回目は、いま中・高校生の間で絶大な人気を集める夕方のテレビ番組「夕やけニャンニャン」のディレクターのおひとり、フジテレビ・坂間和夫氏です。

# 「小学生から大学生まで、全員小学生みたいなのとじろろがあるんですけど」

クラブ離れ対策として  
先生がビデオ録画しちゃう

4月からスタートしてまだ一年にもなりません、すく話題を集めていますね。「最初はもっとマイナーなイメージでとらえていたんですけどね、こんなに話題になるとは思ってもいなかった。スタート当初の企画もマイナーなもので、東京のガイドをしようとか首都圏中心に考えてきたんです」

それがどうしてこのようにメジャー路線に転換しちゃったんですか？

「結論からいうと、中・高校生のパワーに私たちが触発されちゃったということかな。(笑)小学生っていうと、アニメの世界があるでしょう。いま、こっちはこっちで凄いブームになっていきますけど、でも、中・高校生って考えてみると何もなかったんですよ。で、若者のテレビ離れ現象なんてこともいわれるようになってしまったんですよ。」

それと、もともと夕方5時前後って時間帯は再放送帯だったんですね。お父さんは仕事から帰っていないし、お母さんは夕食の仕度、子どもたちはクラブ活動や進学塾の時間ってことで、テレビ局としてもそんなに力を入れていなかったんです。

そんな状況下でのスタートだったんで、こちらもマイナー路線で進めたんですが、いざフタを開けたら反応がすごいわけです。やつと若者向けの番組を作ってくれたなって調子で、一気に中・高校生の間に広まっちゃった。私たちとしましては全然ハッキリまして、彼らの地平に立つて考えた企画が次から次へと当たったというか……」



イキのいい男子生徒の参加を呼びかけているのだが……

ある方向づけをしてあげる、それに簡単にノッてくね

番組の内容について、ちょっと説明していただけますか？

「放送は月曜日から金曜日までの午後5時から6時までの1時間。各曜日ごとにいろんなコーナーがあるんです。たとえば月曜日だと、甲子園に出なくても校歌が歌える「コーナーや、おぬし、できるな!」コーナーなど。『甲子園……』コーナーはいつてみれば高校野球のパロディ版で、名乗りをあげた学校同志が学校自慢をして視聴者の判定で勝ち負けを決めるという企画。生徒だけでなく先生もかなりノッて熱くなってる人気コーナーなんです。」

火曜日には、とんねるずの「ゴジテレビ」。これはフジテレビと5時テレビをひっつけたタイトルの名作パロディ劇。そのほか、武道館への道や、キミの名は「なんてコーナーもやってます」

「そうなんです。進学塾だ行って好きになっちゃうんじゃないんです。でも、みんなが行くから不安になって通ってたわけですよ。スポーツに熱中する根性なんて、なおさらなんです。」

だから「夕やけニャンニャン」が放映されてからは、番組を見たのだからとクラブを退部する高校生が増えているという。で、顧問の先生がクラブ離れの対策として「夕やけニャンニャン」をビデオ録画して、クラブが終わったあとに見せるところまでいっちゃってる……(笑)。こちらにとっては願ったりなんですがいまや「夕やけニャンニャン」を見ていないと、話題が噛み合わないという状況を迎えているんです」



若者に絶大な人気を誇るとんねるずが大活躍



「お昼の人気番組の『笑っていいとも』や『いただきます』なんかと同じく視聴者をスタジオに呼んで、かなりアドリブ的なところもあるようですけど。」

「いちばん強いのは、やはり視聴者参加のコーナーですね。水曜日なんかはそのいい例で、『ニャンニャン腕相撲』や『部分美人コンテスト』、うちの子にこぎって』などのコーナーが人気を集めています。」

このうちの子にこぎって』は、スタジオにきている子の中から1人選んで自宅に電話をかけさせるんですね。で、その直前にとんねるずが喋った合言葉を電話をとったお母さんが喋れば賞金(小切手)を与えるというコーナーなんですけど、結構お母さんなんかよく見ているらしくて正解率が高い。(笑)

— 投書や電話での参加もかなりなものとか。「そう。私が担当している木曜日なんかはと

んねるずのタイムマン・テレホンやニャンニャン・フォーカス、不幸自慢、先生おしえてなんてコーナーがあるんですけど、次から次へとユニークな投書や写真が送られてくる。自分1人では遊べないし、自己表現力に欠けるのだけれど、ちよつとこつちでレールを敷いてやればすぐにノッてきちゃう。ドリフや欽ちゃんの番組で育っているからギャグに対する反応も早く、軽くノッちゃう。そんなところは小学生から大学生まで全員がそうでみんな小学生化しちゃっていますよね」



スタジオに駆けつけるのは圧倒的に女子高生が多い

**逆にタレントを冷やかに見てくつる面もある**

「いまレコードまで出しちゃった。おニャン子CLUB。なんて女子高生のグループは、それこそ視聴者の中から誕生したタレントですね。」

「実は、『夕やけニャンニャン』では曜日に関係なく通して、『ザ・スカウト/アイドルを探せ』というコーナーがありまして、ようするに女子高生の人気コンテストなんですけど、彼女たちはこのコンテストでアイドルとして選ばれた人たちなんです。」

もう完全に素人はかりなんですけど、しかしそのノリはすごい。素人っぽさが売り物になっているんですけど、レベルが高い。レベル

**夕やけニャンニャン**

『夕やけニャンニャン』  
月曜日から金曜日までの毎日17時~18時の1時間  
にわたって放映中の中・高校生向け人気テレビ番組。  
とんねるずをはじめ福川潤二や吉田輝美、岡本  
おかり、松本小雷らヤングに人気のタレントとの  
視聴者によるバラエティショーで、女子高生の人  
気コンテストから誕生した「おニャン子CLUB」  
はつとに有名。現在CX系(フジ、UHB、OX、NST、  
NBS、FTB、THK、KTV、OHK、TSS、OTV)にて放映中。

という面では、女子大生の出演で一躍有名になった『オールナイトフジ』から誕生した、『おかわりスタースターズ』(彼女たちもレコードを出している)よりもはるかに上といえるでしょうね」

「若ければ若いほどノリもすごいノリ。そうなんです、その度胸のよさたるや驚くばかりです。で、それでいてサメているところもあるからわかんなくなっちゃう。」

「おニャン子CLUB」なんかはいわばもう立派なタレントですよ。でも彼女たちの心の中には、私は別に芸能界に入らなかつたていいの。って意識もある。ちよつと前までのタレント志望者に見られたガツガツした部分が全然感じられないですね。だからこそ素人っぽさがそのまま残ってウケているんですよけど……」

**番組を支えているのは女性、男はその後をひいてくつ**

「どの世界でも、女のパワーに圧倒されていますが、どうやらこの番組でも男の子よりは女の子のパワーがありそうですね。」

「それは感じますね。レコードを出すにしてもタレントになるにしても、女性の席はいっぱいあるんですけど、いざ男性の席はというとない。アイドル性という面では、女性のほうが断然リードしていますよね。」

スタジオにきている子どもたちを見てもらえは感じますね。女性のほうがドッシリ落ち

着いていて男性はチャラチャラしている。番組を支えているのは女性で、男性はその後からついていくといった感じがしないわけでもありませんね」

「じゃあアイドル・コンテストなんていうのも、一見男性相手の企画みたいに思っちゃうけど、実は女性を意識して作られた企画だったりして。」

「週刊誌なんかだつてそうでしょう。美智子妃にはじまって山口百恵や松田聖子まで話題の女性の記事は、みんな女性誌にのつているじゃないですか。」

男性っていうのは寛容なかわりに淡泊なところがあつて、女性とは違う。物事にすぐシビアで、番組なんかにしてもつまらないとすぐ他局に切りかえちゃうんです。でもひとたび応援すると最後までついてきてくれるのも、これまた女性なんです。テレビの視聴率なんていうのも、実は女性の視聴率としかえてもいくらいですから。」

「今後はどうなるんでしょうかね、男性は。だから、私としてもなんとか男のアイドルを発掘したいと考えているところなんです。そして、ヒョウな男性たちにもつと夢を抱かせたい。イカグリ頭でタレントが着ているような派手な洋服を着て、うわべだけをマネして満足しているようでは、この先期待できませんからね」



素人っぽさがウケている「おニャン子CLUB」

# 情報スクランブル

お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

## BOOKS

●金谷選手のハイ・テクを劇画で／  
『絵で解説／バイク・テクニク入門』

ビジュアル志向という言葉をよく耳にしますが、確かにある物が持つ雰囲気やその物の動きを文章だけで表現するのはむずかしいこととでし、理解しづらいものです。そこでハウツー本に図解はつきもの、ということになるわけですが、この本はそれをさらに進歩させて、ハウツー部分をすべて劇画で表現してしまつたのです。



しかも、ストーリーは初心者からの質問に著者・金谷秀夫選手が答えるという構成になつていて、解りやすさは超一級品。小学生からレーサーを目指す本格派までが読めるロードレースの入門書です。

金谷秀夫著 懐交タイムス社／¥980

●知っているようで知らないからこの一冊  
『絶対得るカード活用法』

♪ドワー・ユー・ノー・ミー? キャッシュカードにクレジットカード、会員カードにテレフォンカードと、世はまさにカード時代。その気になればスポーツバイクもカード一

## WAVE MUSIC SENSOR

昨年にひきつづき、東京・六本木のニューメディアスペース「ウェイブ」からの音楽情報をお送りします。今年からは「ウェイブ」がお推めするベストヒット間違ったなしの、ニューアルバムを紹介です。日本一早いヒット情報を兼ねたBGMで、新年のお店に活気をつけましょう。

●話題性十分で音も一級  
『SO・RED・THE・ROUSE』

昨年、世界中のポップスファンに話題をまいた「パワースティション」プロジェクトに加わらなかった、ロジャー・テイラー、サイモン・レボン等のアナザーデュラン達が結成



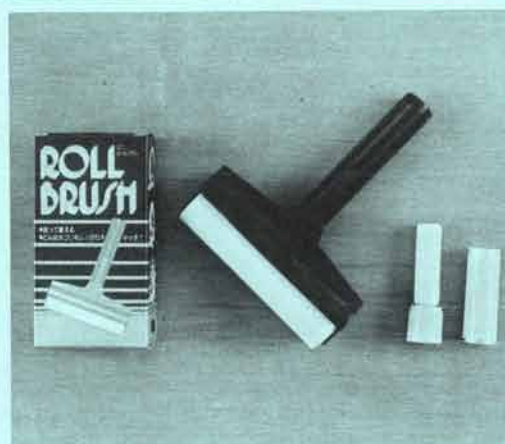
枚で簡単に購入できるという現代に、あなたはどこまでカードを理解し、活用していますか? 使い方ひとつで、得にもなれば損にもなるこのカード。今からでも遅くはありません、しっかりと勉強してご商売や生活に活かしましょう。

海江田万里著 懐扶桑社／¥880

したニューバンド「ALCANTIA」が手がけた待望のニューアルバム。心地よいビート感と適度なテンションがとでもスリリング、ベストセラー間違ったなしの一枚です。

★★★  
●永遠の才女が放つた異次元世界  
『DOG EAT DOG』

最近はおっぱら画家としてのアーティストイックな活動が目立つジョニー・ミッチェルの久びきのニューアルバム。いつもながらのコレクションでジャジーな彼女ならではの



## ACCESSORIE

●音もなくホコリを取る  
『ユニ・ロールブラシ』

机上のホコリを取る手段としては、掃くか拭くか、吹くか、吸う。これが一般的な掃除のやり方ですが、この常識を見事にくつ返したまったく新しいクリーナーが登場しました。なんとホコリを粘着させ、しかも粘着面は洗えば何回でも使えるというスグレモノなのです。用途は機の掃除から衣類、ジュータン、のホコリ取り、バイクに静電気で着いたホコリもきれいに取れました。

お問合せ・ユニセン ☎052(242)0735 / Tタイプ ¥1200、スティックタイプ ¥450

入場料・大人 ¥1000 / 中高生 ¥800 / 小学生 ¥200

●年明け一番の面白レース  
『第4回バトルオブツインフェスティバル』

4年目を迎えてバイクファンの間にすっかり定着した感のあるシングルとツイン、4ストマシンのためのレース、バトルオブツインが今年も筑波サーキットで開催されます。クラスは350ccから750ccまで一シングルとツイン合せて6クラス。独自のサウンドとともに展開される迫力のレースは見ものです。

開催日・1月15日 会場・筑波サーキット



サウンドが、聞く人を一種の異次元空間へやさしく導いてくれます。

※リサイクル用品販売で  
在庫整理から新規開拓まで

ヘルメットにしてもウェアにしても、やはり本体とコーディネートして着用するのがオシャレ・ライダートの基本。そこで本体を買うときに用品類も一括して、というパターンが生まれてくるわけですが、商品のライフサイクルが短くなってきた今、新車に代替するたびに用品も揃えていたのではお客さまの負担が大変。用品の下取りというのはあまり聞かない話ですからね。

この点に着目し、ユニークな用品販売を展開しているのが東京のS店さんです。一口で言ってしまうと不用となった用品類の売買の場をお客さまに提供するという、バイク用品の「リサイクル運動」といったところですが、



その効果は絶大。お客さまの固定化や、不要在庫の整理、新規客の獲得など予想以上の成果を上げているといいます。

ちなみに、いま人気を集めている中古ウェアは、乗るバイクを選ばず、タウン着としても着用可能なカジュアルっぽいデザインのものとか。

ちょっと視点を変えるだけで、不用品でも活用できるというお話です。

※特定のお店を持たない  
女性ライダー

「女心と秋の空」ちょっと季節はずれですが、移り気で繊細な女性心理の話題です。ある展示会の会場で、女性ライダーを対象としたアンケートを行なったところ、次のような答えが返ってきました。



まず「お気に入りのバイクショップはありますか」という質問に対して、返ってきた答えはほとんどが「ノー」。その理由としては、  
●ショップそのものが男の世界という感じで入りづらい。  
●ツーリングなどのソフト面に女性を意識した企画が少ない。  
●店員が不親切。

などを挙げています。そしてこの女性ライダーたちは、自分達が気軽に入れるお店を探して「点検でも修理でも毎回行くお店を変えている」とか。固定化されていない女性ライダーたち、お店のちょっとした心がけ次第で、キヤッチできると思いませんか？

※ポロイドカメラ・フル活用

切手にしても競馬にしても、なにに記念という言葉がつくものは人気が高いようですが、もしかしたら「記念」という言葉に弱いのは日本人の特徴でしょうか。そこで、ポロイドカメラを使ったユーザーサービスをひとつご紹介しましょう。

打出しは「お買い上げ記念。オートバイを買ってくれたお客さまを、購入車と一緒に撮

影し写真をプレゼントするのです。さりげないサービスマスターですが、憧れの愛車を手に入れたお客さまにとっては、とても良い記念となって喜ばれることうけあいです。そしてもうひとつ、この時にも一枚写真を撮って、顧客リストに添付しておけば、一目でお客さまの特徴が判る便利リストも完成です。一度お試しになってはいかがでしょうか？

セルス・ワンポイント1月

- 1日 元旦、年賀、初詣で
- 2日 初荷、初夢、書き初め
- 4日 官庁ご用始め
- 7日 七草
- 8日 学校始業、初業師
- 15日 成人の日
- 16日 庚申、やぶ入り、えんま詣り

☆年賀状の整理と合せて顧客リストの再点検  
☆お正月らしい明るい店頭演出  
☆新年の新聞、雑誌などには今年の予測記事がもりだくさん。バイク販売にとっても貴重な情報、今年の景気や経済の見通し、流行やファッションなども目についた情報を徹底収集して販売計画などの参考にしましょう。

一体いま日本では、毎月どのくらいの種類の2輪専門誌が発行されているかご存知ですか？ ざっと20誌近くにもものぼるほどです。そして、これらの専門誌がユーザーのバイブルとして読まれ、市場のオビニオンをリードしているというわけです。販売店さんにとっても生きた情報満載の2輪専門誌。そんな中から直接、間接にご商売にお役立っていただけそうな記事をピックアップし、毎月お届けしてまいります。

●世界一速いのは俺サ！

「誰が一番速いのか？」こういう単純な疑問を、いかにもアメリカ的に解決してしまおうというのが、このスーパースピードカーズだ。AMAシリーズのトップライダーたち、ロード、ダートトラック、モトクロス、スクーターを集めて、イコールコンディションで競争させてしまおうというわけだ。その結果、今年はエディ・ロ

ソンがアメリカで最も速いライダーに決定した。

▼「サイクル・サウンズ」1月号  
▼モトクロス用ヘルメット姿のE・ローソンがYZ490を駆って83年につづきこの大会2度目の優勝を飾ったという記事です。このほかこのレースの模様は「モーターサイクリスト」「ミスター・バイク」「ロードライダー」の各1月号でも紹介されています。

●卒業論文はフレーム構造

西独・エスリングの大学で機械技術を学ぶ学生が1700時間かけて1台のレーシングマシンを作りあげた。そして、フレーム構造を卒業論文として提出した。彼の選んだマシンは、ヤマハTR1の75度V2で、様々な工夫をこらして馬力増大を図っている。フレームはアルミ製で9・2kgとかなり軽くなっている。その他、フォークはイタリアのフォルセラ、リムはカンパニョーロ、ブレーキはブレンボのものを使っている。フェアリングはヤマ

ハTZのものそのまま使い、タンクやシートなどは自分で作りあげたもの。全製作費は1万1千マルクであった。(要約)  
〔西独誌「モトラート」24号〕  
▼つまり、西ドイツの学生が卒業論文を提出するにあたり、ヤマハTR1のパワーユニットをベースにオリジナルフレームを作りあげたという話題です。それにしてこのフレーム、どことなく話題のデルタボックスフレームと似ていませんか？

**MOTORRAD AKTUELL**

Er ist als mitragendes Teil integriert. Durch die Wahl von hochwertigem Aluminium konnte der Rahmen mit 9,2 Kilogramm recht leicht gehalten werden. Der Steuerkopf ist aus dem vollen Material gefräst und mit dem vorderen Versteifungskasten verschraubt.

Interessant auch die Schwinge. Sie stützt sich nur einseitig über ein Koni-Federbein am Rahmen ab; ein zusätzlicher Rohrverband soll Verwindungen vermeiden. Die Gabel mit 42-

**Beumann-TR 1: Der Rahmen aus Alublechen wiegt nur 9,2 Kilogramm**



Millimeter-Standrohren kommt von Forcella Italia, die Felgen stammen von Campagnolo und die Bremsanlage von Brembo. Da die Maschine mit nur 315

Thema: Bild-

**モーターサイクリスト**  
Best Bike  
**ベストバイク**  
RIDERS CLUB  
**モーター**  
**ロードライダー**  
RIDING SPORT  
The Bike  
GOGGLE  
モーター  
カンガマシン

●オン・オフの区別なんて不要な快適バイク—DT200R

あのDTが、より戦闘的になった。すべてにわたってライダーの意のままに、ただちに反応するエキサイティング・トレールとして。ライダーは、過激に街の風を突き抜けた瞬間、オン、オフの区別なんて不要な快適バイクの誕生を知った。  
〔「ミスター・バイク」1月号〕  
▼マイナーチェンジされたDT200Rが早くも専門誌の「試乗インプレッション

ン」として登場しています。この誌面では、単なるオフロードの走破性だけでなく、一般道を使つてのテストも行なわれているのが特徴。また「打ち出せ/オリジナリテイ」と銘打って、フロント18インチ・前後オンロード用タイヤ装着の「スーパースター・バイク仕様」も紹介されています。さながら気分はエディ・ローソンといったところでしょうか……。

●OW81の性格は、ツンと澄ました令嬢のそれだ

2本クラシクのV4、クラシクケースリードバルブは今や500ccで140ps以上をマークし、HRCのNSRと並んで「世界最強」のパワーを誇っている。しかしヤマハがNSRに対して優位に立っているのは、完成された操安性にある。  
(中略)  
ポルリカールのS字を走っていて、私は古風な社交ダンスを思い浮かべてしまった。完璧なバートナー、マドモアゼル・ソノート・ヤマハは、肩の開いた美しいフレンチブルーのドレスをまとっている(今回は片方にタバコの火で開けた穴がある——銘柄は言うまでもなくゴロワーズ?)。この美女はワルツからタンゴまで、どんなテンポにも合わせて踊ることが出来る。ただし、絶対に足を踏んづ

けないこと。  
OW81の性格は、まさしくツンと澄ました令嬢のそれだ。いつも高級な香水の薫りを漂わせ、素晴らしい衣装を身につけている。私の立場は、たまたま隣に居あわせた彼女に、勇気をふるい起こして話しかけた男のようなものだろう。愉し気な調子で会話が続く。  
〔「サイクル・サウンズ」1月号〕  
▼この誌面では、昨シーズンC・サロンが世界グランプリで駆つたYZR500の試乗インプレッションを紹介しています。今話題の新品YZR250のルーツとも呼べるこのYZRのインプレッション。読者諸氏のTZRインプレッションと比較すると、さていかなものでしょう。

●初体験サーキット走行！  
有意義で面白い1日でありました

10月6日（日）袋井でヤマハ主催のサーキットランがあったので行ってきました。（中略）

午後1時30分にいよいよコースイン。まあ、最初の1周ぐらいそんなに飛ばさないだろうと思っていたのに、わりとスピードがのっていき、第2コーナーではもうダメなんじゃないかと思ひ、コケる用意までしたが、さすがFZ400R、マシンが勝手に曲がってくれた。

2〜3周するうちだんだん慣れてきて、ヘアピンではRタイヤをスライドさせたリ、半クラッチを使つての立ち上りとかいろいろ楽しめた。（後略）

大阪府柏原市・高田恵司

〔「ヤングマシン」1月号〕

▼昨年延べ7000名の参加で大盛況だった「YRSサーキットラン」の参加者の強烈な印象は、こうして専門誌の読者投稿欄をも賑わせています。

●レプリカじゃなくて本物だよ！

ビックリしたのは見てくれだけじゃないところが、TZRのすごいところ。ヤマハ袋井テストコースを攻めてみて、その戦闘力の高さに驚いた。

テストコースはメーターを振り切る直線から、クイックなS字まで市販車にはかなり厳しい条件だけど、TZRが暴れたりすることは皆無だったし、不安もまったくなかった。

RZ250RRがオーソドックスな作りなのに、いまでも高い評価を得ている

のもマシン本来の「素性のよさ」があるからだけど、その発展型のTZRだからこそ操縦安定性に関しては問題があるはずはない。

〔「ベストバイク」12月号〕

▼新登場のTZR250は、専門誌各誌の誌面を賑わしていますが、これらの多くは全日本ロードレースで活躍中の有名ライダーが試乗を担当したもの。右にご紹介したのは、国際A級の八代選手のコメントです。

●ダカールを目指すFZ750

パリ・ダカール・ラリー。毎年1月に行われる、この世界最大のラリーは、すでに7回大会を数え、もうすっかりおなじみになった。ここ3年はBMWが圧倒的な強さを誇っているが、日本のメーカーもBMWの牙城を崩すべく、秘密兵器を用意している。そのテスト走行をスクープしたのが、この写真だ。

〔「ザ・バイク」1月号〕

▼今年もまた世界中の注目を集めるパリ・ダカールラリー。昨年も大活躍したフランスのヤマハインポーター・ソノートのJ・C・オリビエ氏がFZ750のジュエンスパワーを搭載した秘密兵器で出場——とスクープした「ザ・バイク」誌、オフロードファンならずとも気になるレースの結果ですね。注目のチェッカーは、1月中旬です。

Mr. Bike  
CYCLE SOUNDS  
CYCLE WORLD  
MOTORAD  
MOTOR CYCLIST  
MOTOR CYCLIST  
MOTO JOURNAL  
MOTORRAD  
Cycle

WHAT'S NEW Happenings

ダカールを目指すFZ750



「ザ・バイク」1月号

# 受賞あいつぐ'85ヤマハモデル

トライとSRX600が、85年度の通産省グッドデザイン商品に選定されたことは、本誌前号でもご紹介いたしました。昨年未だに開催されたさまざまなコンテストで、'85ヤマハモデルが数多くの賞を受賞しています。ここに改めてご紹介いたします。

## ■通産省グッドデザイン商品選定

前月号で紹介したトライ、SRX600とともに、ヤマハ関連会社・株式会社シャフト製のシャフトドライブ自転車「マ

ハ・シティ・サイクルSCC26」もレジャー・ホビー・DIY部門のグッドデザイン商品に選定されています。

なお昨年度のGマーク商品は、903社から4936点が申請され、410社、1390点が選定されました。



## ■ポパイ誌'85デザイン・オブ・ザ・イヤー

ファッションから遊びまでヤングの流行をリードする「ポパイ」(マガジンハウス発行)が実施したデザイン・オブ・ザ・イヤーでもSRX600が銀賞を受賞したのをはじめ、ゴルフカート・ヤマハターフメイト、輸出モデルV・MAXが銅賞。さらにスノーモビルPZ480がデザイン・オブ・ザ・イヤー賞に輝いています。

このポパイ・デザイン・オブ・ザ・イヤーは、ヤングはヤングの感性に合った素敵なモノが欲しい。同じ性能ならぜったいデザインがかわいしいものを選んで



## ヤマハの2輪専門誌広告 サイクルワールド誌 「広告賞」受賞!

2輪専門誌「サイクルワールド」(CBSソニー出版発行)が、読者の人気投票によって決定した、第1回読者が選ぶ「サイクルワールド広告賞」において、ヤマハの広告が会社別広告賞の第1位に輝きました。

総得票数9706票にのぼった読者投票のうち、ヤマハは2位の倍近い2144票をあつめて1位となったもので、次のように評価されています。

「期間中を通じて常に安定した読者の支持を得た『ヤマハ発動機』が1位を獲得。特に5月号・6月号掲載の『SRX400/600』『SR400/500』の両広告作品の得票数が光る。単気筒のバイクと、その脇にたえず1人の男という、エンジン同様シンブルな構図が商品イメージと合致し、読者の熱い共感を呼んだ」







## 伊藤麻衣子、SRX250でサマナーと松竹映画「愛の陽炎」

女性ライダーの増加に、またまた拍車をかけそうな話題の映画が登場します。2月中旬から公開予定の松竹映画「愛の陽炎(かげろう)」がこれ、主役の伊藤麻衣子が扮する山あいの製材所に働くバイク好きの現

代っ子が、ヤマハSRX250を駆って大活躍するというおはなし。「高校聖夫婦」不良少女と呼ばれて「婦警候補物語」など、ドラマに歌に、大活躍の彼女が、数週間のバイク特訓を重ねて撮影に臨んだという

ほどの意欲作。橋本忍の脚本を三村晴彦が監督。相手役の萩原流行をはじめ司葉子、北林谷栄、風祭ゆきなど豪華な顔ぶれがならんでいます。お店のお客さまへも、どうぞご案内ください。

じやう」と昨年度から発足したものの、84年10月1日から85年9月30日までの期間に新発売されたクルマと衣料品を除くすべての国産商品が対象となっています。約3500点にのぼったエントリー商品の中から、ヤングの感性で厳選された103点が選ばれましたが、4機種ものヤマハ製品が選定されていることで、ヤマハデザインのクオリティが改めて注目を集めています。



## '85ナゴヤモーターフェスティバル開催 名古屋でも「TZR250」が人気独占!

〔ヤマハ名古屋株〕11月1日から11日まで11日間に、130万人もの来場者を集めて人気を呼んだ、第26回東京モーターショーをそのまま再現した「'85ナゴヤモーターフェスティバル」が、11月21日から25日まで、名古屋市の国際展示場で開催されました。



連日ヤングたちの熱気につつまれた2輪コーナー、その中心となつて幾重もの人垣に囲まれた「TZR250」……反響の方も東京モーターショーそのままに、TZR一色。このフェスティバルの余韻もあつて、名古屋のスポーツ市場は例年になくホットな冬となっています。



## 50名が参加して '85合歡の郷ミーンティング開催

2輪専門誌『ザ・バイク』を発行している毎日新聞社では、かねてからヤマハ安全運転推進本部の後援のもと、ライダーの運転技術の向上と安全意識の徹底を図る『バイク特訓会』を開催。またこの『特訓会』卒業生を対象に、親睦を深める『ミーンティング』を開催し、成果を上げています。

『特訓会』8回、SUGO、ヤマハマリナー浜名湖で『ミーンティング』が3回も開かれ、その4回目に当たる'85年のミーンティングが、11月16、17日の両日、三重県・合歡の郷に50名の参加者を集めて開かれました。

『しごき道場』の異名を持つ『特訓会』とは、雰囲気もガラリと異なり、このミーンティングは体験走行あり、パーティーありの楽しいもので、今回

は、とくにセロー225を使ったオフロードYRSと林間ツーリング、またTY250スコティッシュによるトライアル教室を中心とした内容。加藤文博、伊藤敦志、坂口澄男、中川義博……らトライアルの国際A級ヤマハラライダーの指導で、合歡の郷のトライアルコースで楽しい1日をすごしていました。

また、このミーンティングでは、南米コロンビア火山災害救援金チャリティも行なわれ、集まった2万116円が第1号救援金としてコロンビア共和国に贈られました。



参加されたみなさんは全員『しごき道場』の卒業生ばかり



バイクの後は、カートのヨットに、と合歡の郷の特徴をフルに生かした2日間



セロー225とTY250スコティッシュでオフロード・ライダーリングをエンジョイ

## 南米コロンビアの火山災害・救援に ヤマハからバイク、発電機を寄贈

昨年11月13日の南米コロンビア・ネバデルルイス火山の噴火による大災害の救援・復旧活動にお役立ていただくこと、災害から2週間後の11月27日、ヤマハ発電機は、コロンビア共和国にチャビィ50・10台、チャビィ80・10台、発電機ET500 W・5台、EF1400W・2台、

ET1500W・9台、EFC2800W・4台を寄贈しました。

11月27日、東京・品川のコロンビア共和国大使館で贈呈目録を手渡されたホセ・マリア・ピリヤレール大使は、「非常に役立つ救援物資です。さっそく救援・復旧に使わせていただきます」と語っていました。

〔横田自動車株式会社〕栃木県のヤマハ特約店・横田自動車では、傘下8店の販売店さんの協賛を得て11月3日、4日の両日、足利市のスーパー・ドイト足利店駐車場にて、'85YAMAHAモーターショーを開催しました。

なんとといっても、入場者のお目当ては発売直後の『TZR250』。これをひと目見ようと、2日間で1千名を越すお客さまが来場。なんと、11台ものTZRの予約を集める大成功を収めました。



ヤマハからチャビィと発電機の贈呈目録を受けるコロンビア共和国のホセ大使(右)

ショー





## FZ750優勝、ヤマハV2 カストロール6時間 プロダクションレース



↑こちらは、3位に喰い込んだM・ドーソン/K・マギン組

←劇的な大逆転でカストロール6時間プロダクションレースを制したR・スコット/F・フィーニーのFZ750

オーストラリア最大の、プロダクションレース『カストロール6時間レース』が、10月27日、オーストラリア、ニュー・サウスウェールズ州のオランパーク・サーキットで開催された。レースは、前週の水曜日から降りつづく雨が上がりず薄曇り、断続的につよい雨が降るといいうハードコンディションのもとでスタート。5時間30分までトップを行くGPZ900に30秒差と善戦していたFZ750は、その後驚異的な追い上げでその差をぐんぐん縮め、チェッカー6分前にはついにトップに浮上。文字通り大劇的の優勝をなしとげた。

ライダーはR・スコット/P・フィーニー組。また3位にもFZ750が入りヤマハファンを喜ばせた。オーストラリアの世界GPライダーW・ガードナー組はまったく生彩なくリタイア。

このレースは、昨年もRZV500Rが優勝しており、ヤマハは2年連続の勝利である。

## 全容披露FZR750・ボルドール仕様

それにしても、このカストロール6時間プロダクションレースの勝利までも、7月の鈴鹿8時間レースでの快走と劇的な幕切れ。さらに、耐久レースの最高峰ボルドール24時間レースでの、これまた無敵の快進撃と19時半での痛恨のリタイア……など、昨年は耐久レースの話題をひとり占めにした感のあるFZR750&FZ750。

そんな中で昨年12月には、C・サロン/T・エスピ/J・コルナーのソートトリオの走り、'85ボルドールのヒーローとなったゴロワーズFZR750が郷帰り。袋井ヤマハコースで上野真一選手が、豪快なライディングを披露。同時にジェネシス・パワーの全容を公開した。

これが'85ボルドール24時間のヒーロー、ゴロワーズFZR750



## 平選手ら認定表彰 '85MFJ全日本ランキング認定式

ロードレース、モトクロス、トライアル、スノーモビルの4競技の'85全日本選手権シリーズで活躍した上位ランキングライダーを一堂に集めて、12月7日東京・千代田区一番町のダイヤモンドホテルにおいて'85全日本選手権ランキング認定表彰式が開催された。集まった選手が、1年間にわたる互いの健闘をたたえあう中で、ロードレース国際A級500ccクラスでみごとV3を達成した平忠彦選手も、仲間たちの祝福を浴びていた。



'85全日本選手権のヒーローが勢ぞろい

## TZR目当てに1千名が来場 大成功の'85ヤマハ・モーター



## 新しい年、新しいショップの店頭でお客さまをお迎えしましょ

販売店みなさまの積極的な販売活動のご展開によって、おかげさまで「TZR250」は、11月1日の新発売以来、記録的なペースで販売実績をのびし、オフシーズンであることを忘れさせるほど、ホットに冬のスポーツバイク市場を活気づけています。

このもりあがり新春のご商売にむすびつけ、'86商戦のスタートに大いに弾みをつけていただくために、今月は2つのポイントをご紹介します。

その第1は、新しい年のスタートは、リフレッシュしたさわやかな店頭でお客さまをお迎えしたい、ということです。

古くなったポスターやPOPが、昨年からそのままになっているようなことはありません。

「新年は 日より 営業いたします」

あけましておめでとうございます

YAMAHA TRY cham Cut JOG

このページは、ヤマハ発動機各課から販売店のみなさまへの業務連絡です。さらに詳しくは、担当のセールスマン、各特約店販売会社の営業技術課(サービス)、安全普及課(セフティ)、S/Lマン(モータースポーツ) 部品営業課(パーツ)までお問合わせください。

### MOTOR SPORTS



### BIG-BUM 第2弾

## 『Y.E.S.S.オリジナルツアーリング・グイン・沖繩』にご参加ください

Y.E.S.S.と日本航空機が共同開発したジェット機にバイクを積んでツーリングを楽しむ「BIG・BUM」(ビッグ・バム)システムは、すでに昨年秋季に「北海道」で実施して好評を博していますが、早くもその第2弾として「沖繩」を目的地とした企画が実現しました。

「BIG・BUM沖繩/Y.E.S.S.ジェットツーリング・イン・沖繩」と題したこの企画は、全国Y.E.S.S.ショップを募集窓口としてY.E.S.S.スタッフを対象に行なうもの。東京、大阪、福岡から愛車とともに一気に沖繩にジェット機で飛び、2泊3日のツーリングを楽しむという内容です。寒さの厳しい2月と3月に、一足早い春のツーリングを楽しむこの企画で、スポーツバイクの拡販をお待ちください。

#### ■実施要項

実施	日程	募集締切	出発地	旅費	定員	宿泊
第1回	2/22(出)	2/7(金)	羽田・発	89,100円(63,900円)	40台	JAL プライベート リゾート オクマ (OKUMA)
	23(日)		大阪・発	77,700円(54,700円)	15台	
	24(月)		福岡・発	65,900円(45,100円)	15台	
第2回	3/29(出)	3/14(金)	羽田・発	89,100円(63,900円)	60台	JAL プライベート リゾート オクマ (OKUMA)
	30(日)		大阪・発	77,700円(54,700円)	30台	
	31(月)		福岡・発	65,900円(45,100円)	15台	

- 参加は、あくまでY.E.S.S.スタッフに限ります。(定員になり次第、締切)
- 旅費には、往復航空運賃、バイク空輸代、宿泊代(2泊)、食事代(2朝食、2夕食)が含まれます。
- 旅費欄の( )内は、タンデムライダーの参加料金で、バイク空輸代を差引いた金額です。
- 宿泊は、3名1室を基準としています。(ツイン希望者は1名1泊につき1,000円追加)
- 上記料金は、250ccクラスの車両を基準としています。(251-600ccは7,000円追加、601cc以上は10,000円追加)

### ●Y.E.S.S.オリジナルグッズをお客さまにどうぞ!

#### 『10 YEARS HISTORY TBC BIG-ROAD RACE』

TBCビッグロードレースの10年間の歴史を収録。時間/90分(カラー)。タイプ/ベータ、VHS。標準小売価格/¥12,800(Y.E.S.S.スタッフは¥10,800)



#### 『8時間耐久TECH21チーム仕様・Y.E.S.S.テレホンカード』

ケニー・ロバーツと平忠彦のTECH21チームの走りがそのままテレホンカードになりました。お客さまへのプレミアムとしても最適。平忠彦、ケニー・ロバーツの2種類1セット30枚。



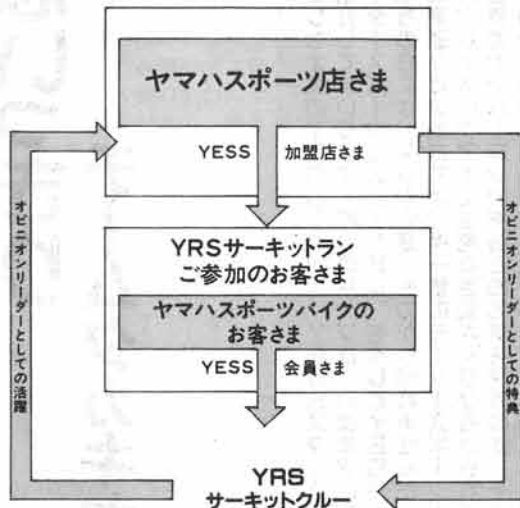


**YRSサーキットクルーシステム発足**  
 YESSショップとスタッフの方がたを対象にした新しいコミュニケーションサークル「YRSサーキットクルー」が、'86年より新たにスタートします。

これは、YRSサーキットランにご参加いただいたお客さまへのフォローアッププランとして企画したもので、図のようにサーキットランに参加したYESSスタッフ・ヤマハユーザーをオビニオンリゲーターとして育成し、YESSショップのさまざまな活動面でリゲーターとして活躍いただくというものです。

そして、このサーキットクルーには、会員情報誌クルーエクスプレス、クルーカード、クルーオリジナルバンドナ、クルーエンブレムなどの特典も用意されています。

お店でもどうぞ、この新しいシステム、YRSサーキットクルーをオビニオンリゲーター育成にお役立てください。さらにはくわしくは、もよりのヤマハ販売会社・安全普及課へどうぞ。



**ご存知ですか?  
 パーツカタログの工数表記載**

これまでスクーター系のパーツカタログのみ記載していた整備作業時間が、昨年7月発売の「ゼロ1225」より、ビッグバイクを含めた全機種（レジャーを除く）のパーツカタログに記載されているのをご存知ですか？ 販売店みなさまの整備業務に、ぜひお役立てください。

●86年1～2月の技術講習会スケジュール

1月9日～11日	2～2気筒	▼研修センター東京
1月16日～18日	4～DOHC	
1月23日～25日	2～単気筒	
1月27日～29日	2～単気筒	
2月4日～6日	4～DOHC	
2月13日～15日	女性	
2月25日～27日	2～2気筒	
1月16日～18日	2～単気筒	▼磐田研修会館
2月5日～7日	2～2気筒	
1月9日～11日	2～単気筒	▼研修センター神戸
1月21日～23日	2～2気筒	
2月4日～6日	2～単気筒	
2月13日～15日	2～単気筒	
2月19日～21日	4～DOHC	

ヤマハ技術講習会受講者ご紹介



▶11月19日～21日・2～2気筒コース(東京)  
 後列左からオートショップアングル・大場英司社員、サイクルショップキヨムラ・小川勲社員、星野モーターズ・滝本憲人社員、㈱オートショップテラカド・金子憲一社員、オートショップあかつき・島村裕児社員。前列左から㈱オートショップテラカド・志賀勝浩社員、沼田章社員、自転車のサトウ・佐藤淳社員、YSP葛飾・平幸雄社員



▶11月6日～8日・4～DOHCコース(東京)  
 後列左から大島オートサービス・大澤敦志社員、モリサイクル茅ヶ崎・川田太社員、㈱モトギヤルソン・松井隆社員、河野サイクルサービス・森田和彦社員、北一紀社員。前列左よりオートショップ石川・杉山昭二社員、㈱市川商会・市川宏明社員、バイクハウスオレンジ・込山勝社員、㈱松崎モーターズ・富樫昭社員、オートショップワタナベ・岡田康弘社員。



▶10月23日～25日・2～2気筒コース(東京)  
 後列左からYSP目白・山下一広社員、バイクハウスゼロ・堀善孝社員、サンエスマート春名信之社員、今井商店・今井睦社員、砂川輪店・山田大介社員、前列左からYSP目白・水本幸也社員、松崎モーターズ・曾部宏之社員、YSP宇都宮東・見目浩章社員



▶11月12日～14日・2～2気筒コース(東京)  
 後列左から港南台まるやす・井口直弥社員、スポーツショップフクシマ・宮本豊社員、サンエスマート・横町裕社員、㈱モトギヤルソン・松本勝吾社員、松崎モーターズ・岡田和彦社員、前列左から衛若月オートサイクル・長場哲男社員、バイクハウスオレンジ・河澄真社員、YSP厚木スペーサー・伊佐野元信社員、バイクハウスゼロ・樋川匠社員



▶11月13日～15日・2～2気筒コース(神戸)  
 後列左からバイクショップミヤタ・徳原和利社員、ホンダヒガシ・田宮健一社員、戸田商会・戸田直樹社員、前列左バイクプラザヤマノ・佐藤豊社員、中野寿生社員



▶11月6日～8日・2～単気筒コース(神戸)  
 (左)㈱ビーコック・小谷一伸社員、(右)中山谷オートサイクルセンター・大西栄司社員



フリールドは銀世界。マツトしも思ひくきり  
スノーモビルしてます！  
チームタカキヤ

・高喜屋輪店 高橋幸雄社長 / 和雄専務(新潟県南魚沼郡塩沢町大字南田中423)

このコーナーではことしも全国のY.E.S.S.ショップ、Y.E.S.S.スタッフみなさんの活躍ぶりをご紹介してまいります。'86年のトップは、いままさに最高潮のウインター・モータースポーツ「スノーモビル」を楽しむY.E.S.S.仲間たち。雪の降らない地方の方には、なじみの薄いかも知れませんが、上信越から東北そして北海道などの地方では、冬一番のモータースポーツとして多くのファンを集め、レースにツアーに活発な活動がくりひろげられています。そして、この世界でナンバーワンの実績と知名度を誇るのが、その名も「スノーモビル・プロショップ」高喜屋さんとそのクラブ「チームタカキヤ」のみなさんです。

●レースにツアーに、50名のクラブ員が参加

昭和48年の12月に結成された「チームタカキヤ」。その前身は、その3年ほど前から5名のメンバーでつづけていたモトクロスクラブ「ワールドトレールメン塩沢」です。いまでは、クラブも「モーターサイクルレーシングメイト」「モーターサイクルツーリングメイト」「スノーモビルツアーメイト」「スノーモビルレーシングメイト」チームタカキヤOB「MFJ新潟県雪上車部会」の6つに細分化。総勢では120名もの会員が、それぞれの目的に合った活動を楽しんでいます。

そして、日本でも有数の降雪地帯という土地柄が、50名がスノーモビルのクラブに属しています。リーダーの高橋和雄専務(34

才)は、7年連続してスノーモビルの全日本チャンピオン。他にも4名のスノーモビル・インスタクターがいます。

全日本チャンピオンといえば、スノーモビルのメインイベント・MFJ全日本選手権シリーズ新潟大会の開催も、チームタカキヤのクラブ活動のひとつ。この日ばかりはクラブ員が総力をあけて全日本イベントの運営に当たります。

「クラブ員は主催者側、レースには出られませんが、その分3月にクラブだけのお遊びレースをします。30分耐久レース、ギャップレース、タイムトライアル……といった楽しい内容のものですね」(高橋和雄専務)

そしてこのレースとつながって、クラブ員の最大の楽しみとなっているのがスノーモビルツアーです。

●醍醐味はスノーモビルツアー

1・2月はスキーヤーで一杯のため、実際にスノーモビルツアーが始まるのは3月に入ってから。3・8人がひと組みになり、



# Y.E.S.S. HOT-LINE

Y.E.S.S.ショップでまたY.E.S.S.事務局とのコミュニケーションスペース Y.E.S.S.ホットライン

## スタッフ参加申込書は 全欄キチンとご記入ください。

**Y.E.S.S.**  
YAMAHA PARTNY SPORTS SYSTEM  
参加申し込み書

社員コード 加盟店コード スタッフコード

社名、メールアドレスを必ず記入し、正確に記入し、申し込みが  
遅延しないようご注意ください。また、安全運転をお願いします。

1 氏名	ヤマハダロウ 05383 -2-1111	1	<input checked="" type="checkbox"/>
2 住所	〒438 伊豆 静岡市 静岡市新目 2500	2	<input checked="" type="checkbox"/>
3 性別	♂男 ♀女	3	01
4 生年月日	19 年 月 日	4	650415
5 職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> その他	5	04
6 血液型	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> AB <input type="checkbox"/> O	6	03
7 免許の種類	<input type="checkbox"/> 自二 <input type="checkbox"/> 自二(中型) <input type="checkbox"/> 自二(小型) <input type="checkbox"/> 原付 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 大型 <input type="checkbox"/> なし	7	02 05
8 保有車種 メーカー	<input type="checkbox"/> ヤマハ <input type="checkbox"/> ホンダ <input type="checkbox"/> スズキ <input type="checkbox"/> カワサキ <input type="checkbox"/> その他	8	01
9 保有車の 種類	<input type="checkbox"/> ロードモデル <input type="checkbox"/> トゥールモデル <input type="checkbox"/> トライアルモデル <input type="checkbox"/> フューリー(ワフ)モデル <input type="checkbox"/> コンペモデルRR <input type="checkbox"/> コンペモデルMX <input type="checkbox"/> コンペモデルTR <input type="checkbox"/> その他	9	04 06
10 興味ある スポーツ	<input type="checkbox"/> ロードレース <input type="checkbox"/> モトクロス <input type="checkbox"/> トライアル競技 <input type="checkbox"/> カート <input type="checkbox"/> ツーリング <input type="checkbox"/> その他	10	02 05
11 所有 ライセンス	<input type="checkbox"/> MFJ <input type="checkbox"/> RR <input type="checkbox"/> MX <input type="checkbox"/> TR <input type="checkbox"/> MCEAJ <input type="checkbox"/> RR <input type="checkbox"/> MX <input type="checkbox"/> TR <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> カート <input type="checkbox"/> なし	11	02

ジュニアスタッフの方は、保護者の承認が必要です。 TEL

〒 番

ご氏名

1988年度のスタッフ募集手続きを行なうにあたって、まずご注意いただきたいのが参加申込書の作成です。そこで今回は、スタッフ参加申込書の記入方法について、あらためて説明させていただきます。

### 1. 記入はボールペンで!

参加申込書は4枚綴りですので、ご記入にあたってはボールペンを使用して、1字1字をハッキリ書いてください。

### 2. 氏名にはフリガナを!

氏名を書いたら、その上に必ずフリガナを書き込んでください。(氏名欄の右側のマス目へのご記入は必要ありません)

また、氏名欄の余白には、電話番号もお書き加えていただくよう指示してください。緊急連絡時には、この電話番号の記載が大いに役立ちます。

### 3. 住所にもフリガナと郵便番号を!

郵便番号の記入洩れが目立っていますので、必ずご記入するよう心がけてください。

また、住所については、氏名と同じくフリガナが必要です。住所の上に必ずフリガナをお書き込みください。(住所欄の右側のマス目へのご記入は必要ありません)

### 4. 性別欄以下は数字で記入を!

性別欄以下の項目については、すべて各欄右側のマス目に数字でご記入ください。生年月日欄のみそれぞれの年月日を、その他は該当項目の頭に記された数字をマス目にお書き込みください。

※詳しくは、担当セールスマンまでお問合せください。



昨年12月、シーズンインを直前に控えて多忙をきわめる高喜屋輪転店スタッフのみなさん。中央が高橋幸雄社長、右から2人目が和雄専務。

他のグループと無線で連絡をとりながら、大自然の中のスノーモビルツアーを楽しみます。

「店の後方に連らなっている魚沼丘陵を走る魚沼スカイライン。ここがスノモツアーのメインコースです。距離にして約20キロ。途中尾根道を外れて谷間に下りてみたり、大自然の中って楽しめるところはいろいろありますからね。このツアーを始めて8年目になります。走れば走るほどスノモビルの醍醐味が増していくんです。とくに頂上からの眺めを楽しみながら汗をぬぐうひときは格別。だから下界の景色が楽しめる。天気の良い日はツアーに出かけないんです。」

と本当に楽しそうに語る高橋和雄専務。

「時には、早朝4時に起き出して日の出を見に走り出すこともありますよ」とも。

とにかく、雪に閉ざされた。などという意識はゼロ。バイクをスノーモビルに乗りかえてトコトン楽しむチームタカキヤのY.E.S.S.仲間たちです。



# お客さまの満足度を高める 明るいお店、充実のアフターサービス

まるやす・株佐々木 / 佐々木修貞社長

横浜市港南区港南台3-17-1  
045(662)0169

新しい年の初めに、お店ではどんな計画をお立てになりましたか。今年もこのコーナーでは、全国各地で積極的な販売を展開するヤマハ販売店のみなさまの活躍ぶりをご紹介します。

86年のトップは、ミナト横浜の住宅街・港南区港南台で、ヤングからアダルトまで幅広いお客さまに、スクーターからビッグバイクまでの幅広い販売をくりひろげている「まるやす」さんです。

## ●「安さ」から「満足」へ、 変化を先どりした明るく、広い店舗

横浜市の中心部にもほど近く、住宅地として急テンポの拡大を続けている港南台。いまでは世帯数も10万を越えるというこの港南台から約5\*ほど離れた鎌倉市大船に、佐々木社長のお父さまのお店があります。

大学卒業後、大阪で3年間ご商売の修業を積んだ佐々木社長は、その後大船に戻って9年間お父さまのお店を手伝い、昭和55年に独立してこの港南台に自分のお店をオープンさせたのです。

大船のお店から5\*、ちょうど商圏の一番端というわけです。最初の店舗は、現在のお店から200メートルほど離れたところ。敷地165平方メートル、店舗99平方メートルと手狭なために、2年半ほど前に現在の場所に移転しました。

「たしかに狭かったことも理由のひとつですが、それよりも新店舗にした一番の動機は当時の「価格競争」ですね。あんなこと絶対にいつまでも続かない、そしてその後に来るのは、安さなんかじゃない本当の店の魅力が求められる時代だ、と思ったからです。

そこで、買っていただいたお客さまに心から満足してもらえるような態勢づくりを第一に考えました。まず広くて、きれいな店舗

と、万全のアフターサービス体制ですね。サービス部門に正社員として5人のスタッフを入れたのもそのためです。そして、社員全員があらゆるタイプのお客さまとよりよいコミュニケーションができるようにと思って、商工会の会合やメーカーの集まりなどには積極的に出席させるようにしています。

こんな姿勢がお客さまにも伝わってか、店舗の移転やイメージの一新によって「4分の1は離れていくだろう」と予想していたお客さまも、ほとんど変わることもなく固定客として来店されているといいます。

## ●三方ガラス張り、 演出しやすいショールーム

こうして生まれた、現在の「まるやす」さんの店舗は、遠目には小ギレイなガソリンスタンドか、四輪ディーラーと見まちがえるほどシヤレたもの。「友人の建築家に自由な発想で設計してもらった」というこの個性的な店舗を、佐々木社長は次のように語ります。

「既成のオートバイ販売店のイメージにとらわれずに設計したので、かえって新鮮な店になったと喜んでいました。

床から天井までが5メートル、三方はすべてガラス張りですから、明るく、しかも道行く人たちからも店内の様子がひと目でわかるのがいいですね。

それに、正方形、ワンフロアのシンプルな店舗なので、どこからでも仕切れ、ショールームのレイアウト変えも簡単。いつも新鮮な演出ができるので助かっています。外壁がわりのウインドウも最初のコストは高いかもしれませんが、いろいろな効果を考えると、普通の壁面よりも割安じゃないかと思うほどです。

ショールームの総面積は169平方メートル。広さも、明るさもたっぷりですが「もつと冷暖房を効率的」というのが、もつつかの課題だといいます。



↑ショールーム中央の事務コーナーにはコンピューターも。これを使ってのお客さま管理は清子さんの役目

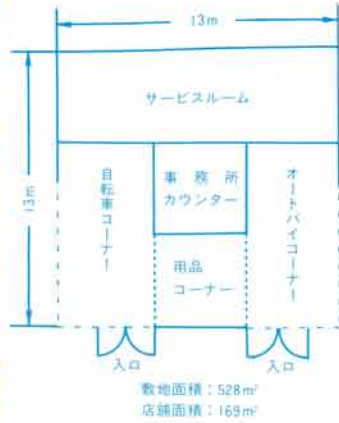
→佐々木修貞社長（左から4人目）と奥さま清子さんに5名のサービスマンを加えて「まるやす」さんのスタッフは計7名







5 mもある床から天井まで壁面すべてをガラス張りにしたショールームは、明るく、開放的な雰囲気为好評



↑高い天井をフルに活かした空間演出が、ずい所に施されている



「必要最低限のものを揃えた」という用品コーナー



↑アフターサービス重視の『まるやす』さんらしく、店舗のほぼ半分のスペースを割いたサービスルーム ←ショールーム中央の事務コーナー。この部分は屋根からも採光している



## ●チェックシートで サービス効率をアップ

佐々木社長とおくさま・清子さん以下、お客さまの応待に当るのは計7名という『まるやす』さん。お客さまに接する人が増えれば増えるほど、アフターサービスの受注、整備の進行状況、補給パーツの発注・納品の管理なども繁雑になり、往々にしてお客さまからの問い合わせ電話にもすぐに答えられない、ということも起こりがち。

これを防ぐために『まるやす』さんで実施しているのがチェックシートによる管理です。「お客さまに対して整備内容や工賃を明確にしよう」と始めたものなんですけど、よくあるチェック・シートを使って、誰が受注したか、整備担当は誰か、部品発注記録等を記入しています。そして、これを『受付け・保留』『整備中』『部品待ち』『完成』の4つの引き出しに分類してあるんです。このおかげで、お客さまからの問い合わせにも誰が出てお答えられますし、整備途中でスタッフが代わるような場合にもとてもスムーズに行くわけなんです。

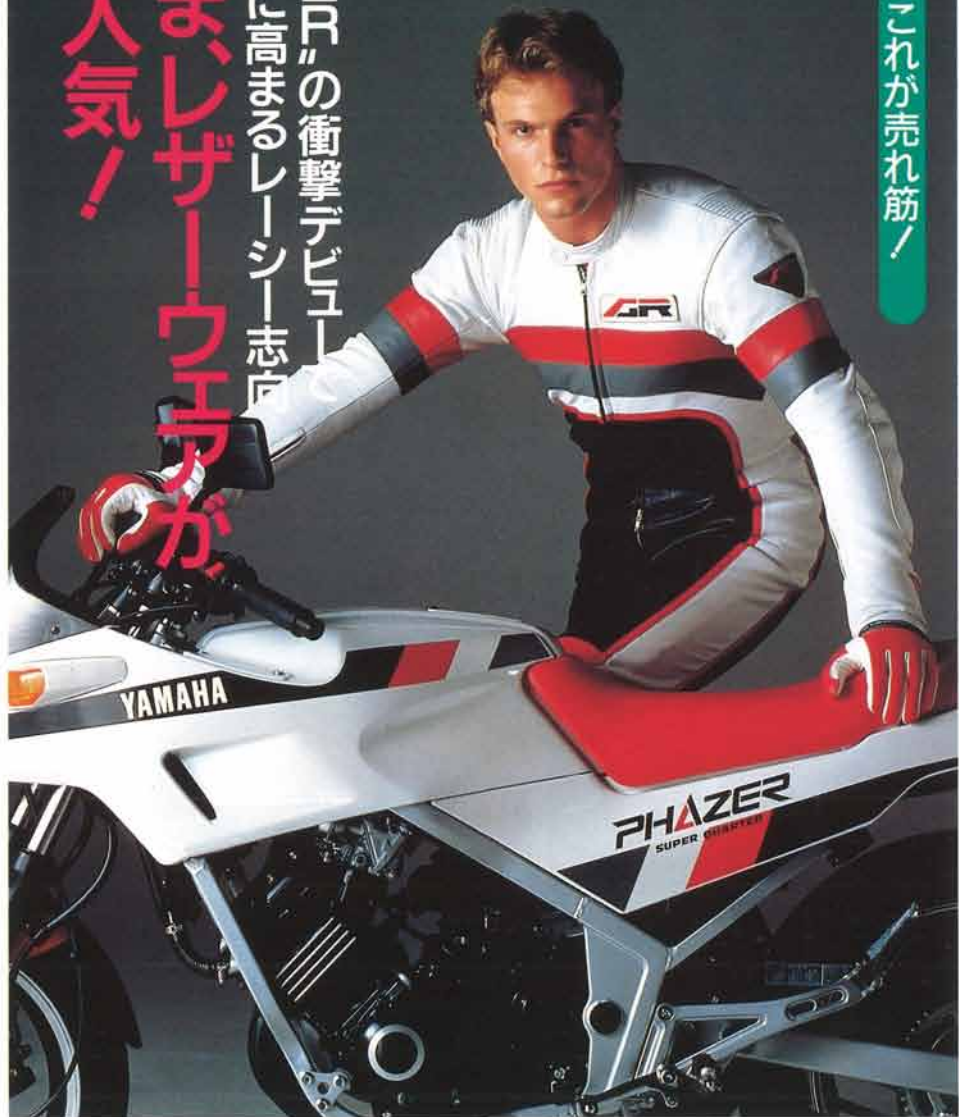
このチェックシートによるアフターサービス管理を始めたら、手の空いたスタッフがチェックシートを確認して、積極的に作業を進めていくようになったとか、修理を持込んだ他店のお客さまもこのシステムが気に入って代替に結びついたとか、いろいろな場面で予想以上の効果を生み出しています。

さらに、昨年の6月からはコンピュータも導入。12月までにバイク、自転車あわせて6千人にのぼるお客さまのインプットも完了し、この春からはいよいよこのデータを駆使したさまざまな企画を計画中です。

その内容は、16才の免許年齢に達した自転車ユーザーに対する原付バイクへのスアップアップを促すDM。お客さまカードの発行と来店回数や購入額等による特典の付与など。昨年の11月からのYESS加盟店としてのスポーツ活動もあわせて、ますます忙しくなりそうなお客さまの『まるやす』さんの'86年です。

●これが売れ筋!

“インパ”の衝撃デビュ  
 々に高まるレーシー志向  
 いま、レザーウェアが  
 大人気!



●YL321 ジオラマスポーツスーツ ¥135,000

膝にプラスチックパット、肩、腰、膝上にシャーリングを採用し、安全性と快適さを追求。

●素材：表/良質牛皮、裏/ポリエステルメッシュ(マーバス) ●カラー：ホワイト・レッド・グレー&ブラック、ホワイト・イエロー&ブラック、ホワイト・サックス&ネイビー ●サイズ：M、L、LL



●YL508 ジオラマSPウィンター ¥14,800

良質牛皮と新素材の組み合わせで、保温性は抜群の本格的ウィンターグローブ。

●素材：表/良質牛皮、中綿/シンサレート、ゴアテックス・フィルム、裏/ポリプロピレン ●カラー：レッド&ホワイト、レッド&ブラック、サックス&ネイビー、イエロー&ホワイト ●サイズ：フリー



●YL503 ジオラマウィンターグローブ ¥11,000

保温性抜群のシンサレートを中綿に使用。独自のカットング技法が卓越したグリップ感。

●素材：表/良質牛皮、中綿/シンサレート、裏/ベンベルグ ●カラー：レッド&ブラック、レッド&ブルー、サックス&ネイビー ●サイズ：フリー



●YL504 レーシンググローブGR-1 ¥9,800

ロードレース用に新しく開発したニューカットング\*スーパーソリッドメソッド\*を採用した本格レーシンググローブ。  
 ●素材：仔牛皮 ●カラー：レッド&ホワイト、ネイビー&ホワイト、サックス&ホワイト ●サイズ：M、L

●YL608 ヤマハレーシングブーツ ¥30,000

前後シャーリング仕様、サイドチャック、レーシングソールと本格機能を装備。内側はスポンジパッド付きで安全性も十分。

●素材：良質牛皮 ●カラー：ホワイト・ブラック&レッド、ブラック・レッド・グレー&ホワイト、ネイビー・ブルー・サックス&ホワイト、ブラック・イエロー・グレー&ホワイト ●サイズ：24.0cmから27.0cmまで0.5cm単位に7サイズ



**安全だからレザー** これも、いまさら説明するまでもありません。当然のことだからです。高級牛皮を使用したヤマハのレザーシューズは機能性はもちろん耐久性も抜群。シャーリングやパッド、さらにエアスリットやメッシュ加工など、各部にわたってレーシングテクノロジーがフィードバックされているのも人気のヒミツです。

**ナウいからレザー** それこそ昔は、レザーウェアといえばライダーの象徴でした。でも、いまやオンロード・スポーツのライダーにとっては「ジョロシキ」といえるほどに普及しているのです。もちろん、バイク本体やヘルメットとのトータルコーディネートもバッチリ。ファッションを気にする若者ほどクレンジットを組んでもレザーウェアを揃える傾向にあるのです。

**寒いからレザー** そう、これだけ保温性の優れた新素材が次から次へと新開発されても、今なおレザーに対する保温性の「信仰」は健在なのです。レザーウェアが冬場によく売れているのも、この「信仰」のおかげ。寒さにふるえるライダーにとっては、レザーウェアはノドから手が出るほど欲しいライダーズグッズのひとつなのです。

ウィンター・シーズンに話題のニューモデル「TZ R 250」が登場して、例年になく盛り上がるスポーツバイク商戦ですが、その影響を受けて、いまレーシングスーツやグローブ、ブーツなどのレザー商品が人気を集めています。

## ●うちの用品コーナー No.1

用品販売といっても、市場特性や本体販売の違いによってその展開方法はさまざまです。そこで今月からは新たに、全国各地で積極的に用品販売に取り組む販売店さんを訪問。実際のご商売の姿をご紹介します。

第1回目は、'84年6月にオープンして以来、順調に用品売上げを伸ばす『バイクサロンハタヤマ』さん。国際A級トライアルライダーとしておなじみの畑山和裕選手のお店です。

# 楽しくアキさせない 変化のある、立体的なディスプレイ

## バイクサロン ハタヤマ(畑山和裕社長/宮城県宮城郡)

『バイクサロン ハタヤマ』さんをひとことで説明すると、「用品コーナーの広いお店」といえそうです。45坪の店内に占める用品展示スペースは実に5割と多く、その力の入れようがうかがえます。

「とにかくお客さんのニーズを先取りした店を作りたかったんですね。それでバイクの世界を店に幅広く表現していこうと、用品コーナーの充実を図ってきました。

単に用品を売るためにだけでなく本体営業にも結びつく形でのバイクライフ提案をしていこうと。そのために、どうしても現在のスペースが必要となっているわけです」

用品コーナーの具体的な作り方について、畑山社長はこう話をしてくれました。

「ポイントは、見やすく楽しくてお客さまをアキさせない演出ということでしょう。例をあげれば、立体的なディスプレイ。マネキンを使ったり、ネットを使ったり、さらにパイプを使ったりして変化をつけました。

また、単に用品を陳列するだけでなく、遊びに関連する商品をひとそろえにしてトータルコーディネート提示することも大切。あくまで押しつけでなく、お客さまに何かしらのヒントを与える演出が効果的です」

バイク本体のオン・オフ比率がようやく半々になったとはいえ、まだまだオフロードのイメージが強いといわれる『バイクサロン ハタヤマ』さんですが、今後は、オンロード・スポーツのイメージアップにも意欲的に取り組むとか。その成果が期待されています。

壁面も有効利用



畑山和裕社長

←変化に富んだ用品コーナー  
いまにも動き出しそうなウェアの展示



ネットをななめに吊るして新品を強調



お店に1冊どうぞ  
『85・86ヤマハボルトオン&メンテナンスカタログ』

ヤマハ・モーターサイクルのボルトオン商品およびメンテナン用品のすべてを一挙掲載した『85・86ヤマハボルトオン&メンテナンスカタログ』が完成しました。

A4サイズ・148ページのこのカタログには、ボルトオン&メンテナン用品のカラー紹介のほか、全商品のパーツリストも掲載しています。皆さまのお店でもぜひ一冊お揃えいただき、スクーターからスポーツバイクのお客さままで広くPRをお図りください。

※詳しくは、担当パーツセールスマンまでお問合せください。

